

2023年
豊岡市まちづくりアンケート
～政策モニタリング調査～

結 果 報 告 書

2023年3月

豊岡市政策調整部政策調整課

目次

I	調査概要	1
II	調査結果	2
1	回答者の属性	2
2	自然と環境について（問 8～問 11）	7
3	子育てと教育について（問 12～問 18）	13
4	環境と経済について（問 19～問 20）	22
5	健康と運動について（問 21～問 25）	25
6	公共交通について（問 26～問 29）	31
7	食と農業について（問 30～問 31）	36
8	地域の歴史、伝統、文化芸術（問 32～問 37）	39
9	防災について（問 38～問 44）	46
10	まちづくりと観光について（問 45～問 48）	54
III	調査票	57

I 調査概要

1 調査の目的

豊岡市は、よりよいまちづくりを行うために、市の重要政策について戦略的政策評価を実施している。戦略的政策評価は、目指す姿を明確にしたうえで、それを実現する手段を段階的かつ論理的に立案し、改善していく手法である。

有効な手段の立案や改善を行うためには、市が保有している行政情報の他に、市民の考え方や行動などの情報も必要となる。本アンケート調査は、市の重要政策に関する市民の考え方や行動などについて、定期的かつ統計的に分析し、客観的な情報を得るために実施しているものである。

2 調査の対象等

本アンケートの対象等は、次表のとおりである。

調査対象	無作為に抽出した18歳以上の市内在住者4,000人
調査方法	配布：郵送 回答：郵送、ウェブ
調査期間	2023年1月16日～2月6日
回答数	1,811票（回答率45.3%） ※郵送：1,505票 ウェブ：306票
設問数	48問 ※調査票は58ページ以降に掲載
実施主体	豊岡市（政策調整部政策調整課政策調整係）

3 分析方法

- (1) 集計及び分析は「無回答」を除いた有効回答を対象に行っている。
- (2) 集計結果は小数点第2位（又は第3位）を四捨五入しており、表示の比率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 分析においては、10代と20代を「若年層」、30代～60代を「壮年層」、70代と80代以上を「老年層」としている。
- (4) 統計分析
 - ア 本調査の分析では、設問に対する最も否定的な回答選択肢から順に1から5（又は4）までの整数値に数値化し、分析可能にしている。
 - イ 当てはまるものを選ぶような設問についても、選択の有無を0と1の2値に数値化して分析可能にしている。
 - ウ 数値化した回答値について、2つの集団（例えば男女間や地域間）や調査年ごとの回答平均値の差が有意であるかどうかなどを、統計的仮説検定の手法を用いて調べている。
 - エ 調査はその年度の1月に実施しているため、本報告書では「〇〇年調査」という呼称を用いている。

II 調査結果

1 回答者の属性

(1) 性別（表1及び図1）

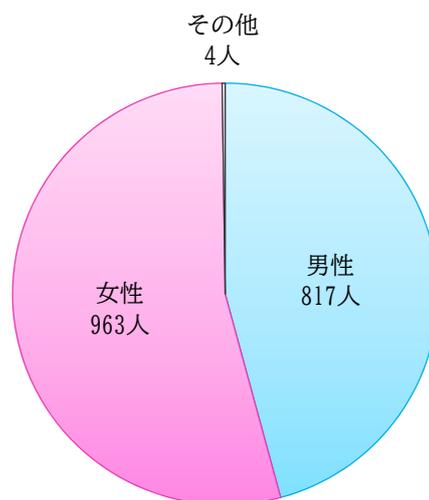
性別の回答者数は、男性 817 人（45.8%）、女性 963 人（54.0%）、その他 4 人（0.2%）であった。回答者の男女別の割合は、国勢調査における本市の男女比と比べて大きな差はない。

<表1：国勢調査との比較> 単位：%

	本アンケート	2020 年国勢調査
男性	45.8	48.1
女性	54.0	51.9
その他	0.2	-

有効回答数：1,784

図1：性別の回答者数



(2) 年齢（表2及び図2）

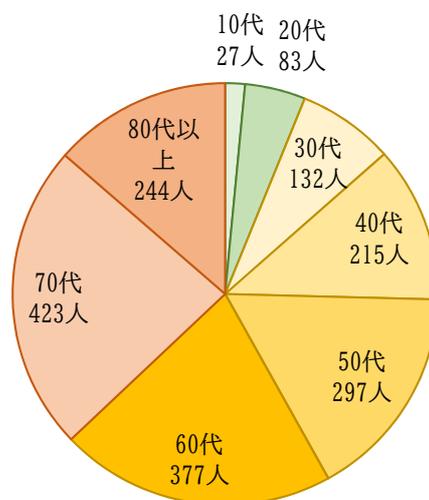
年代別の回答者数は、10代が 27 人（1.5%）、20代が 83 人（4.6%）、30代が 132 人（7.3%）、40代が 215 人（12.0%）、50代が 297 人（16.5%）、60代が 377 人（21.0%）、70代が 423 人（23.5%）、80代以上が 244 人（13.6%）である。

<表2：国勢調査との比較> 単位：%

	本アンケート	2020 年国勢調査
10代	1.5	1.5
20代	4.6	7.7
30代	7.3	11.5
40代	12.0	15.4
50代	16.5	15.1
60代	21.0	17.1
70代	23.5	17.1
80代以上	13.6	14.5

有効回答数：1,798

図2：年代別の回答者数



(3) 職業（表3）

回答者の職業は、「無職」が最も多く（25.3%）、次いで「会社員・会社役員」（23.3%）、「パート・アルバイト」（14.6%）の順である。

<表3：回答者の職業>

	人数（人）	割合（%）
会社員・会社役員	416	23.3
自営業（農業含む）	186	10.4
公務員	118	6.6
パート・アルバイト	262	14.6
専業主婦・主夫	209	11.7
学生	48	2.7
NGO・NPO	3	0.2
無職	452	25.3
その他	95	5.3

有効回答数：1,789

(4) 居住地域（表4）

回答者が住んでいる地域は豊岡地域（54.2%）が最も多い。回答者の地域別の割合は、国勢調査と比べて大きな差はない。

<表4：回答者の居住地域>

	本アンケート		2020年国勢調査
	人数（人）	割合（%）	割合（%）
豊岡地域	968	54.2	53.3
城崎地域	60	3.4	4.2
竹野地域	110	6.2	5.6
日高地域	360	20.2	19.8
出石地域	197	11.0	11.9
但東地域	90	5.0	5.1

有効回答数：1,785

(5) 年代別の家族構成（表5）

回答者の家族構成を年代別に見ると、60代～80代以上の回答者の1割以上がひとり暮らし世帯、3割以上が夫婦のみの世帯である。

<表5：回答者の年代別の家族構成>

		ひとり暮らし	夫婦のみ	夫婦と20歳未満の子ども	ひとり親と20歳未満の子ども	二世世代家	三世世代家	その他	合計
10代	人数(人)	1	0	7	2	7	7	3	27
	割合(%)	3.7	0	25.9	7.4	25.9	25.9	11.1	100
20代	人数(人)	13	8	11	1	26	18	4	81
	割合(%)	16.0	9.9	13.6	1.2	32.1	22.2	4.9	100
30代	人数(人)	4	12	65	1	23	23	4	132
	割合(%)	3.0	9.1	49.2	0.8	17.4	17.4	3.0	100
40代	人数(人)	14	14	92	6	42	36	10	214
	割合(%)	6.5	6.5	43.0	2.8	19.6	16.8	4.7	100
50代	人数(人)	24	70	40	4	100	40	18	296
	割合(%)	8.1	23.6	13.5	1.4	33.8	13.5	6.1	100
60代	人数(人)	48	130	2	2	134	35	25	376
	割合(%)	12.8	34.6	0.5	0.5	35.6	9.3	6.6	100
70代	人数(人)	48	190	4	0	106	56	15	419
	割合(%)	11.5	45.3	1.0	0	25.3	13.4	3.6	100
80代以上	人数(人)	51	77	2	0	64	26	17	237
	割合(%)	21.5	32.5	0.8	0	27.0	11.0	7.2	100

(6) 地域別の住居形態（表6）

回答者の多く（86.6%）が持ち家の一戸建てに住んでいる。

賃貸の集合住宅に住んでいる割合が高い地域は、豊岡地域（12.3%）、出石地域（5.1%）及び日高地域（4.7%）である。

<表6：地域別の回答者の居住形態>

		持ち家		賃貸		社宅・寮・ シェアハウス 等	その他	合計
		一戸建て	集合住宅	一戸建て	集合住宅			
豊岡 地域	人数（人）	792	4	33	119	7	9	964
	割合（%）	82.2	0.4	3.4	12.3	0.7	0.9	100
城崎 地域	人数（人）	54	0	2	1	2	1	60
	割合（%）	90.0	0	3.3	1.7	3.3	1.7	100
竹野 地域	人数（人）	101	0	4	0	0	4	109
	割合（%）	92.7	0	3.7	0	0	3.7	100
日高 地域	人数（人）	327	4	4	17	3	4	359
	割合（%）	91.1	1.1	1.1	4.7	0.8	1.1	100
出石 地域	人数（人）	181	0	2	10	1	3	197
	割合（%）	91.9	0	1.0	5.1	0.5	1.5	100
但東 地域	人数（人）	85	0	3	0	1	1	90
	割合（%）	94.4	0	3.3	0	1.1	1.1	100
合計	人数（人）	1,540	8	48	147	14	22	1,779
	割合（%）	86.6	0.4	2.7	8.3	0.8	1.2	100

(7) 地域別の回答者家族の子どもの有無（表7）

同居家族に高校生以下の子どもがいる回答者は、地域別にみると豊岡地域が239人で最も多い。

<表7：子どもがいると回答した人数（地域別）> 単位：人

	子ども有※	子ども有		
		小学生以下	中学生	高校生
豊岡地域	239	169	77	75
城崎地域	18	11	9	7
竹野地域	23	17	6	5
日高地域	102	69	27	31
出石地域	51	30	22	16
但東地域	11	7	5	4
合計	444	303	146	138

※回答者により「小学生以下」と「中学生」など重複している場合もあるため、内訳の合計と「子ども有」の数は一致しない。

2 自然と環境について（問8～問11）

(1) 問8『あなたは、豊岡の自然の中で暮らすことに価値があると感じていますか』

これまでの調査における回答平均値は、表8のとおりである。

調査年の間で統計的に有意な差はない。

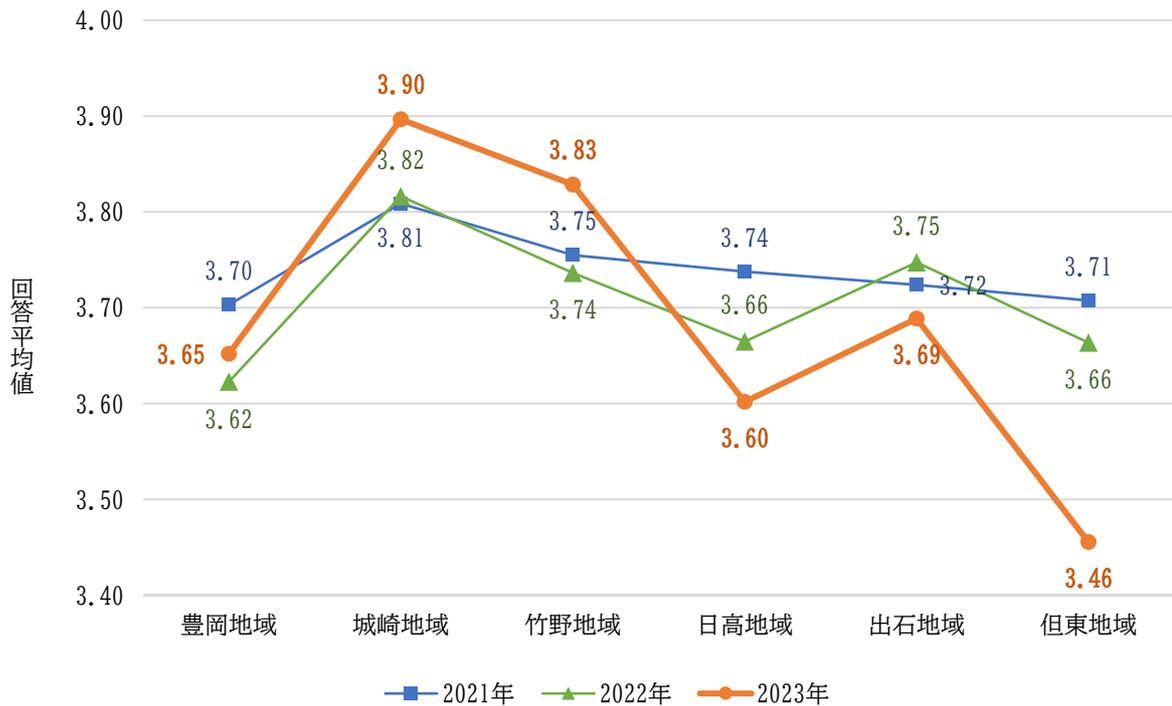
<表8：調査年ごとの回答平均値>

2021年調査	3.72
2022年調査	3.66
2023年調査	3.66

地域別の結果は、図3のとおりである。

2023年調査においては、城崎地域及び竹野地域と但東地域との間で統計的に有意な差がある。これらの地域間では、豊岡の自然の中で暮らすことに価値を感じるかどうかに差があると言える。

図3：豊岡の自然の中で暮らすことに価値があると感じているか



男女別の回答平均値は、表9のとおりである。

2023年調査においては、男女間の回答平均値の差に統計的な有意差はない。

<表9：調査年ごとの男女別の回答平均値>

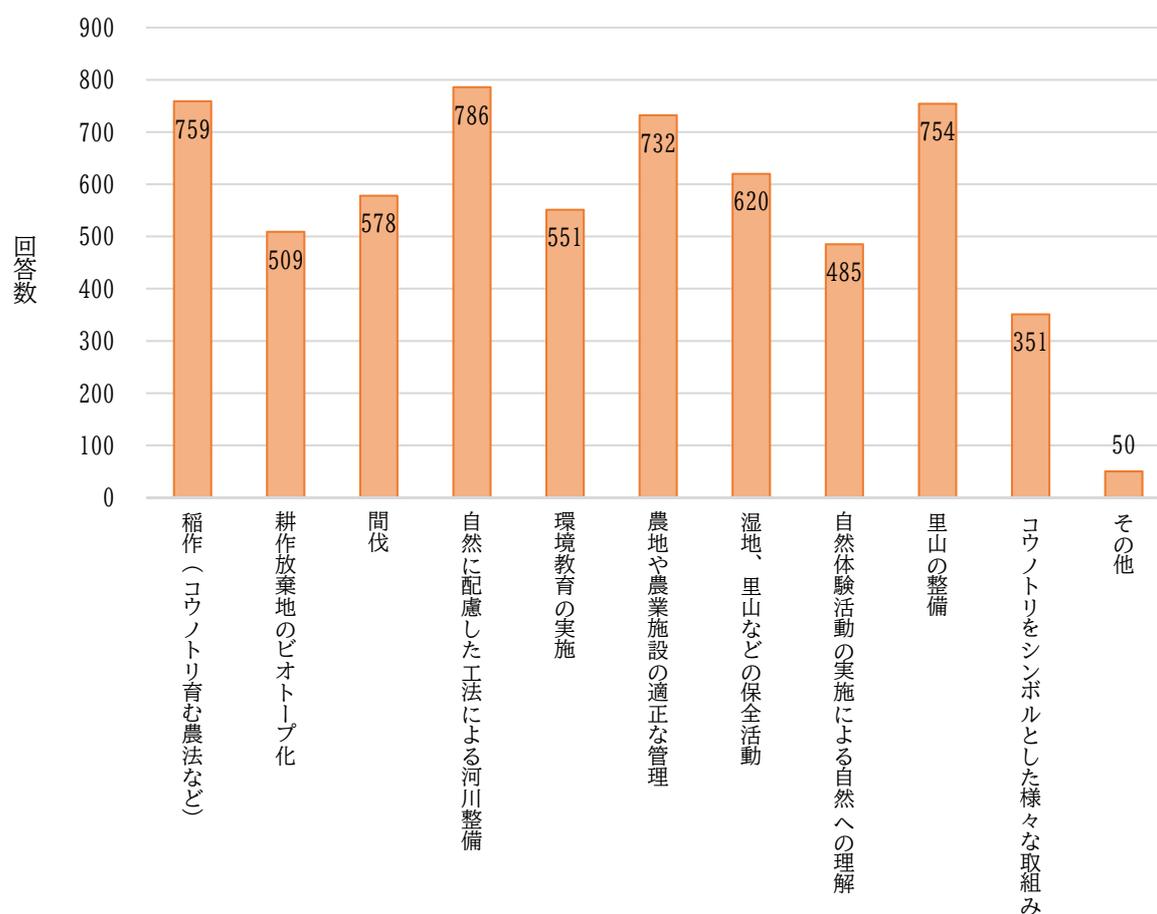
	男性	女性
2021年調査	3.63	3.79
2022年調査	3.67	3.65
2023年調査	3.61	3.70

(2) 問9『あなたは、生物多様性保全のためにどのような取組みが重要と思いますか』

全体の集計結果は、図4のとおりである。

回答数が多い取組みは、「自然に配慮した工法による河川整備」(786人)、「稲作(コウノトリ育む農法など)」(759人)、「里山の整備」(754人)、「農地や農業施設の適正な管理」(732人)、などである。

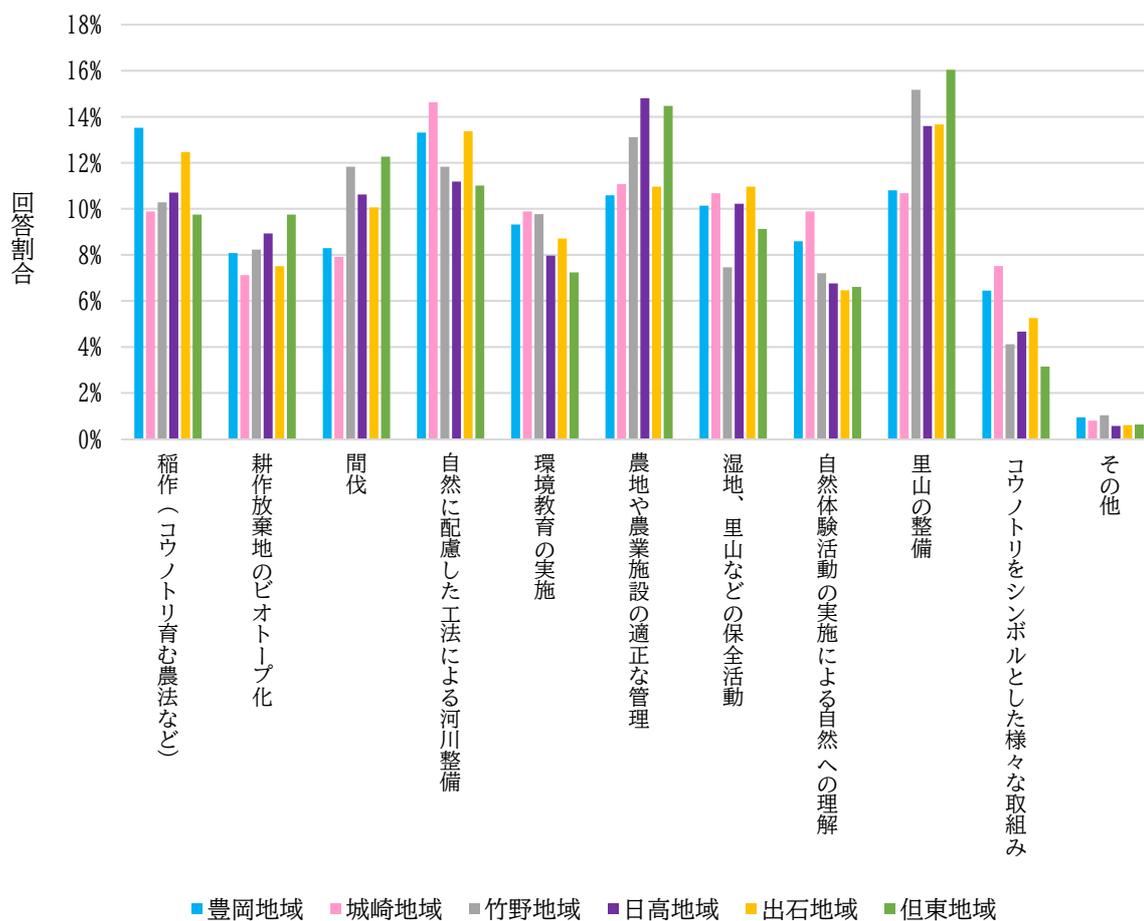
図4：生物多様性保全のために重要と思う取組み（全地域集計）



各項目の回答数が地域別の回答総数に占める割合を見ると、図5のとおりである。

これまでの調査を通じて、おおむね豊岡地域と城崎地域では「自然に配慮した工法による河川整備」が、竹野地域と但東地域では「里山の整備」の回答割合が高い傾向にある。何を重要と感じるかについては、それぞれの地域における河川や山が占める割合と関係があることが推測できる。

図5：生物多様性保全のために重要と思う取組み（地域別の回答割合）

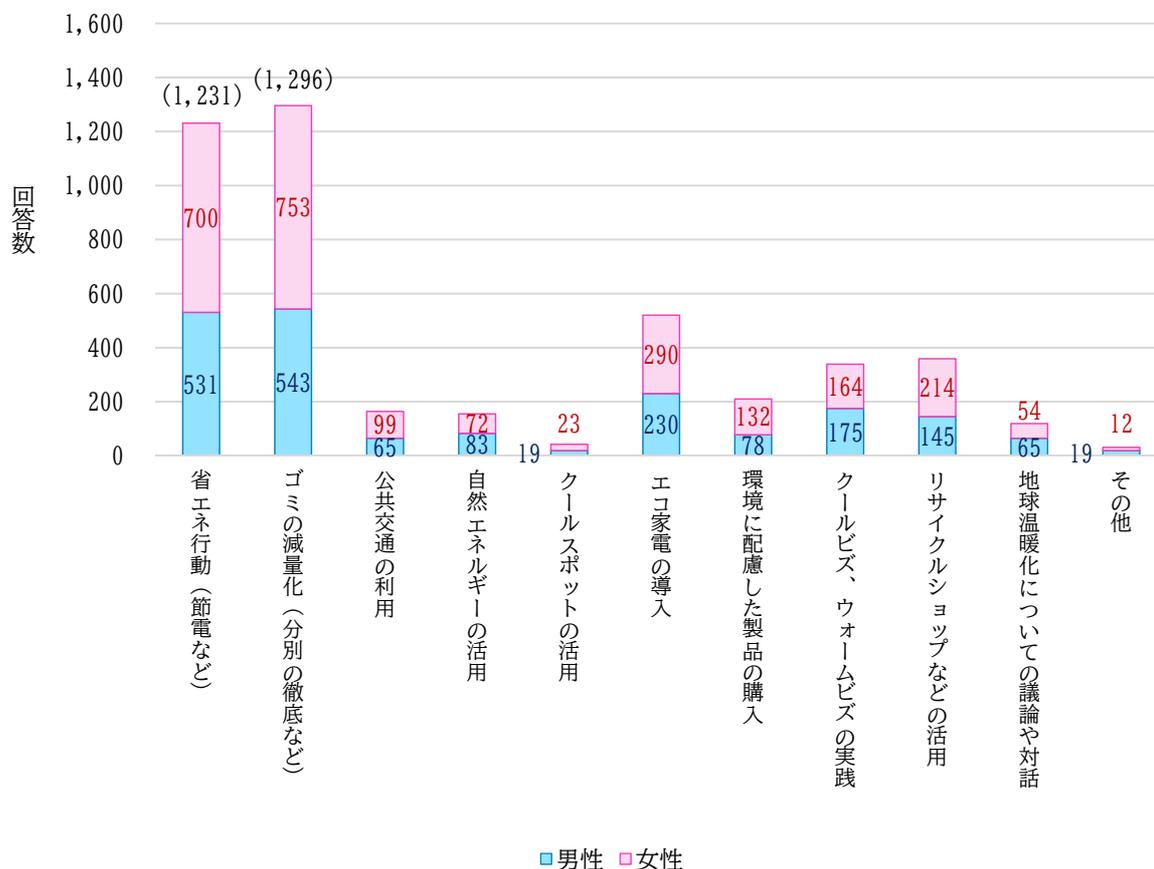


(3) 問10『あなたは、地球温暖化対策として、普段どのようなことを実践していますか』

2023年調査における男女別の集計結果は、図6のとおりである。

回答の多い取組みは、「ゴミの減量化（分別の徹底など）」（1,296人）、「省エネ行動（節電など）」（1,231人）である。

図6：地球温暖化対策として実践していること



男女間で、性別の回答総数に占める回答割合に差がある取組みは、次のとおりである。

<男性のほうが回答割合の高い項目>

- ・自然エネルギーの活用（太陽光パネルの設置など）
- ・クールビズ、ウォームビズの実践

<女性のほうが回答割合の高い項目>

- ・ゴミの減量化（分別の徹底など）
- ・環境に配慮した製品の購入（オーガニック、有機JASなど）

「その他」の回答として挙げられたものは、これまでの調査と同様、「マイバッグ・マイボトルの使用」や「自転車の積極的な利用」などである。2023年調査では「必要以上の買い物をしない」や「食品ロスの削減に努める」という回答も挙げられた。

(4) 問 11『あなたは、森林資源（木質バイオマス）や自然エネルギー（太陽光、風力、水力）などの「持続可能な地域資源」が有効に利用されていると思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 10 のとおりである。
調査年間で統計的に有意な差はない。

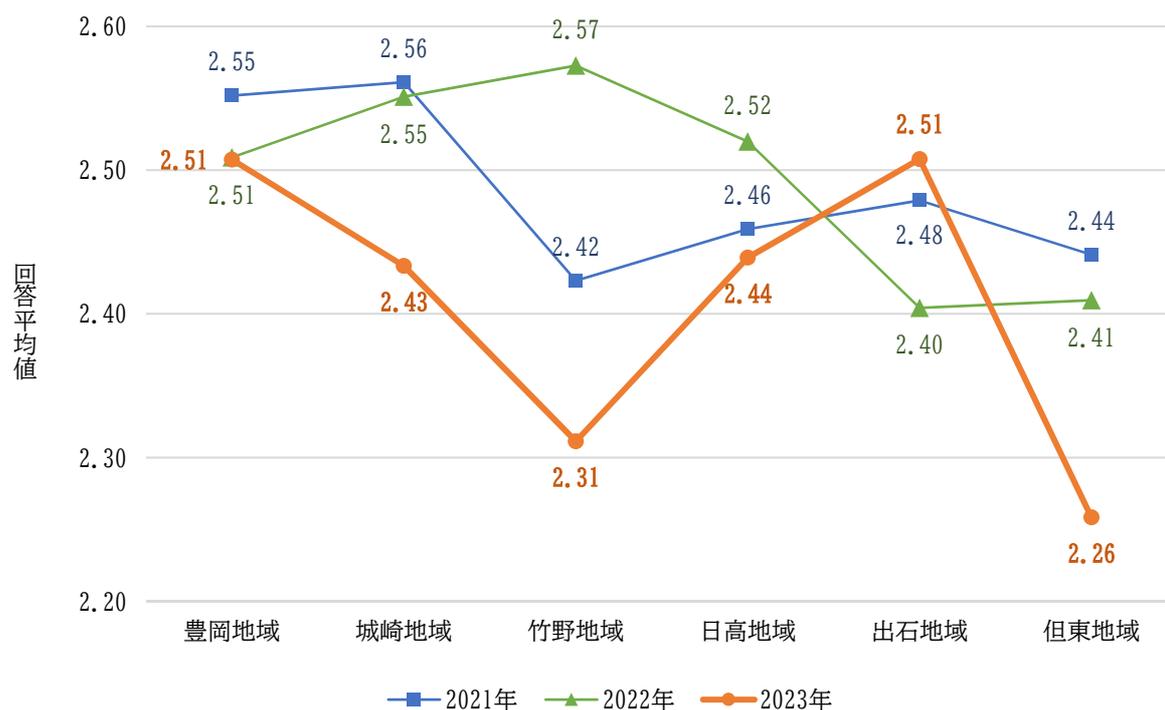
<表 10：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.51
2022 年調査	2.50
2023 年調査	2.47

地域別の結果は、図 7 のとおりである。

2023 年調査においては、竹野地域の回答平均値が昨年に比べ有意に低下しており、同地域においては持続可能な地域資源の有効利用について否定的な回答が増加していると言える。

図 7：「持続可能な地域資源」が有効利用されていると思うか



男女別の回答数及び回答数に占める割合は、表 11 のとおりである。
男女とも「あまりそう思わない」の回答が最も多い。

<表 11：男女別の回答内訳>

		まったくそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらとも 言えない	ある程度 そう思う	とて も そう 思う	合 計
男性	人数 (人)	113	403	185	92	13	806
	割合 (%)	14.0	50.0	23.0	11.4	1.6	100
女性	人数 (人)	52	451	304	132	5	944
	割合 (%)	5.5	47.8	32.2	14.0	0.5	100

年代別の回答数及び回答数に占める割合は、表 12 のとおりである。

「あまりそう思わない」の回答割合が、60代と70代で5割を超えている。

昨年と比較すると、「あまりそう思わない」の回答割合が30代で4.3ポイント、40代で6.9ポイント上昇した。一方、20代では「ある程度そう思う」の回答割合が昨年より5.8ポイント上昇した。

<表 12：年代別の回答内訳>

		まったくそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらとも 言えない	ある程度 そう思う	とて も そう 思う	合 計
10代	人数 (人)	1	13	8	4	1	27
	割合 (%)	3.7	48.1	29.6	14.8	3.7	100
20代	人数 (人)	4	29	33	14	3	83
	割合 (%)	4.8	34.9	39.8	16.9	3.6	100
30代	人数 (人)	20	56	38	16	2	132
	割合 (%)	15.2	42.4	28.8	12.1	1.5	100
40代	人数 (人)	23	97	66	27	1	214
	割合 (%)	10.7	45.3	30.8	12.6	0.5	100
50代	人数 (人)	31	139	91	31	3	295
	割合 (%)	10.5	47.1	30.8	10.5	1.0	100
60代	人数 (人)	29	212	90	36	2	369
	割合 (%)	7.9	57.5	24.4	9.8	0.5	100
70代	人数 (人)	42	226	102	47	2	419
	割合 (%)	10.0	53.9	24.3	11.2	0.5	100
80代 以上	人数 (人)	19	90	62	51	5	227
	割合 (%)	8.4	39.6	27.3	22.5	2.2	100

3 子育てと教育について（問 12～問 18）

(1) 問 12『あなたは、豊岡市で子育てをする人は安心して子育てができていると思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 13 のとおりである。

2022 年調査と 2021 年調査の間には統計的に有意な差があり、否定的な回答が増加している。2023 年調査と 2022 年調査の間には統計的に有意な差はない。

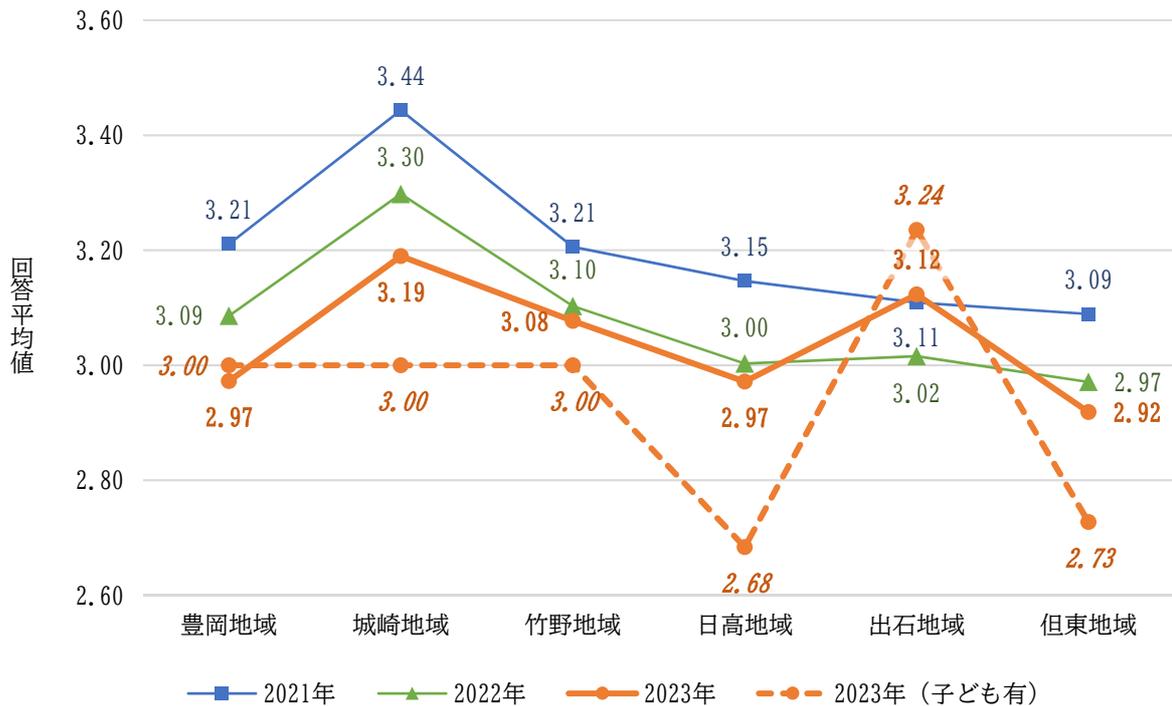
<表 13：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	3.20
2022 年調査	3.06
2023 年調査	2.99

地域別の結果は、図 8 のとおりである。

2023 年調査において、日高地域では子ども有の回答者と子ども無の回答者との間に統計的に有意な差があり、子ども有の回答者のほうが否定的な回答が多い。

図 8：豊岡市で安心して子育てができると思うか



また、男女間でも統計的に有意な差があり、2023 年調査においては、女性よりも男性のほうが否定的な回答が多い。

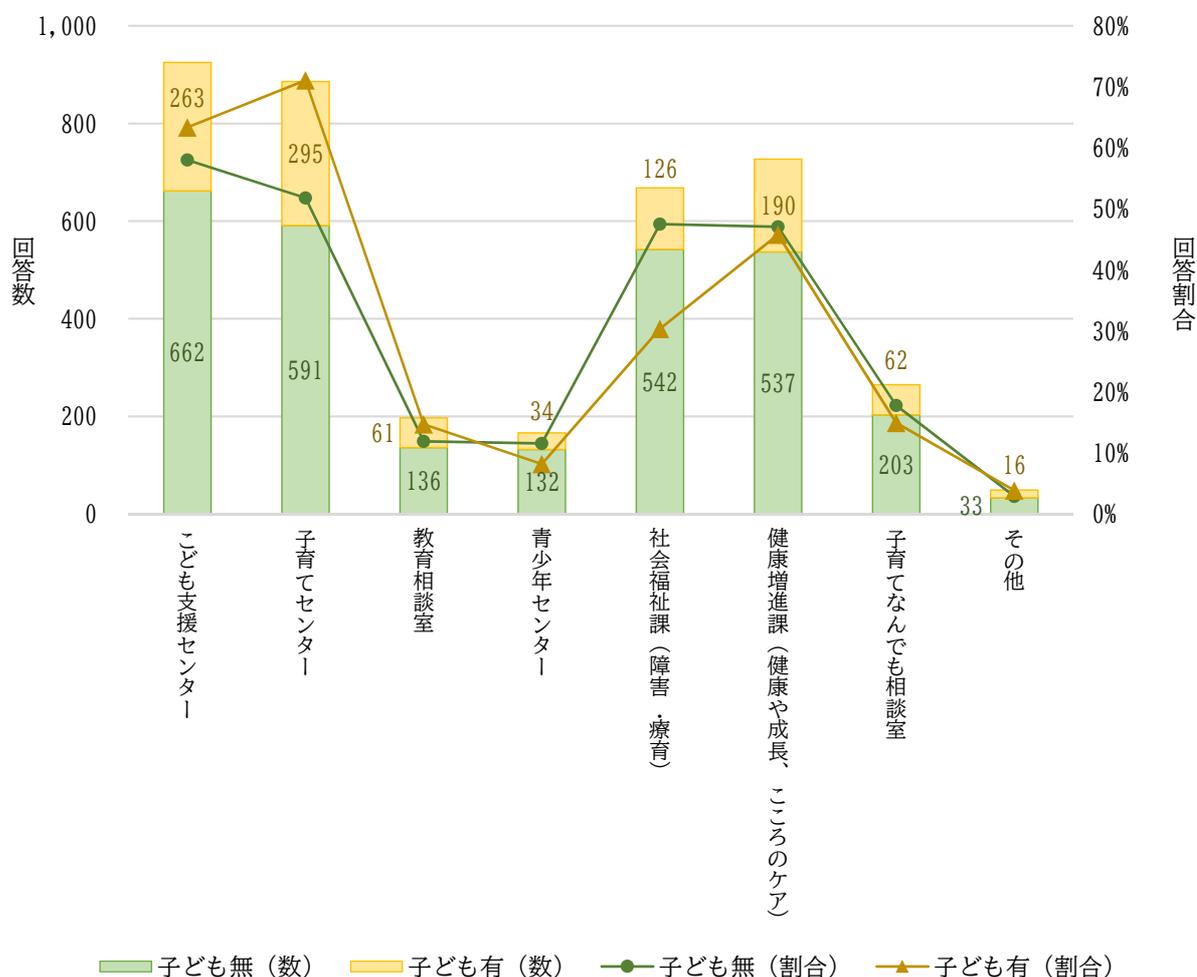
(2) 問13『子育てに関する悩みや不安を相談できる窓口として、あなたが知っているものはどれですか』

2023年調査における、回答数と回答数に占める割合は、図9のとおりである。

「子育てなんでも相談室」は今年度開設されたため、今回の調査から追加している。

子ども有の回答者と子ども無の回答者との間で、「子育てセンター」と「社会福祉課（障害・療育）」を知っている割合に統計的に有意な差がある。「子育てセンター」については子ども有の回答者のほうが、「社会福祉課（障害・療育）」については子ども無の回答者のほうが有意に高い。

図9：子育てに関する相談窓口で知っているもの



(3) 問 14『豊岡市の現状は、子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 14 のとおりである。

2022 年調査と 2021 年調査の間には統計的に有意な差があり、否定的な回答が増加している。2023 年調査と 2022 年調査の間には統計的に有意な差はない。

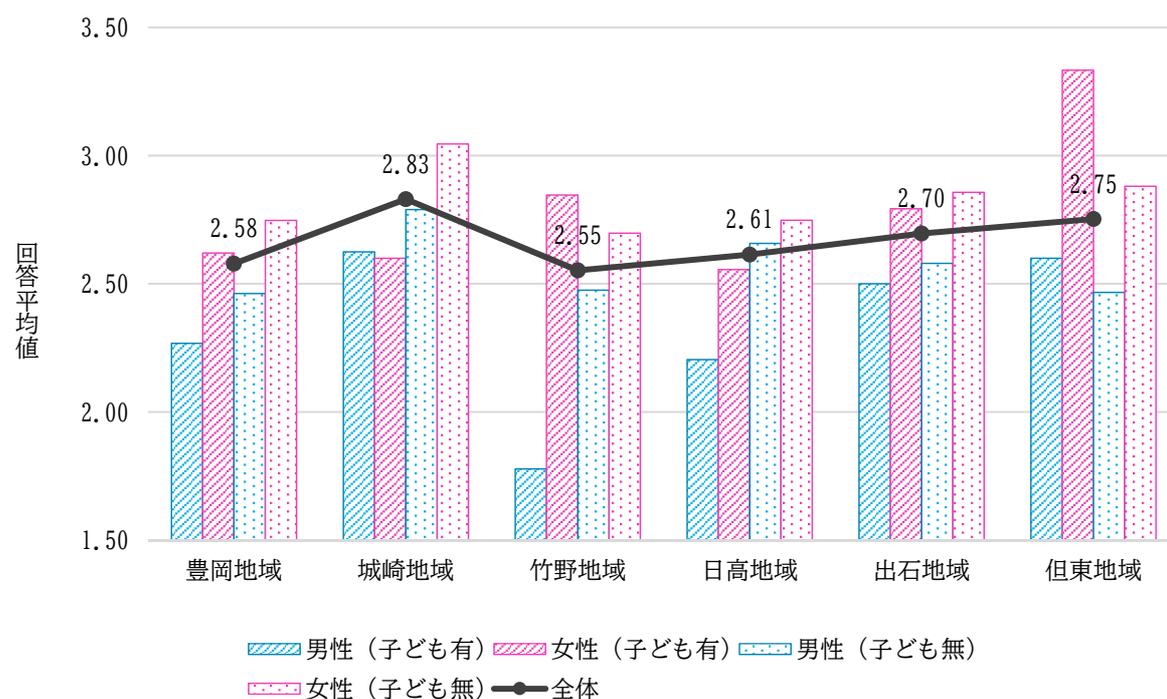
<表 14：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.79
2022 年調査	2.65
2023 年調査	2.61

地域別の結果は、図 10 のとおりである。

2023 年調査においては、地域間の全体の回答平均値には統計的に有意な差はない。

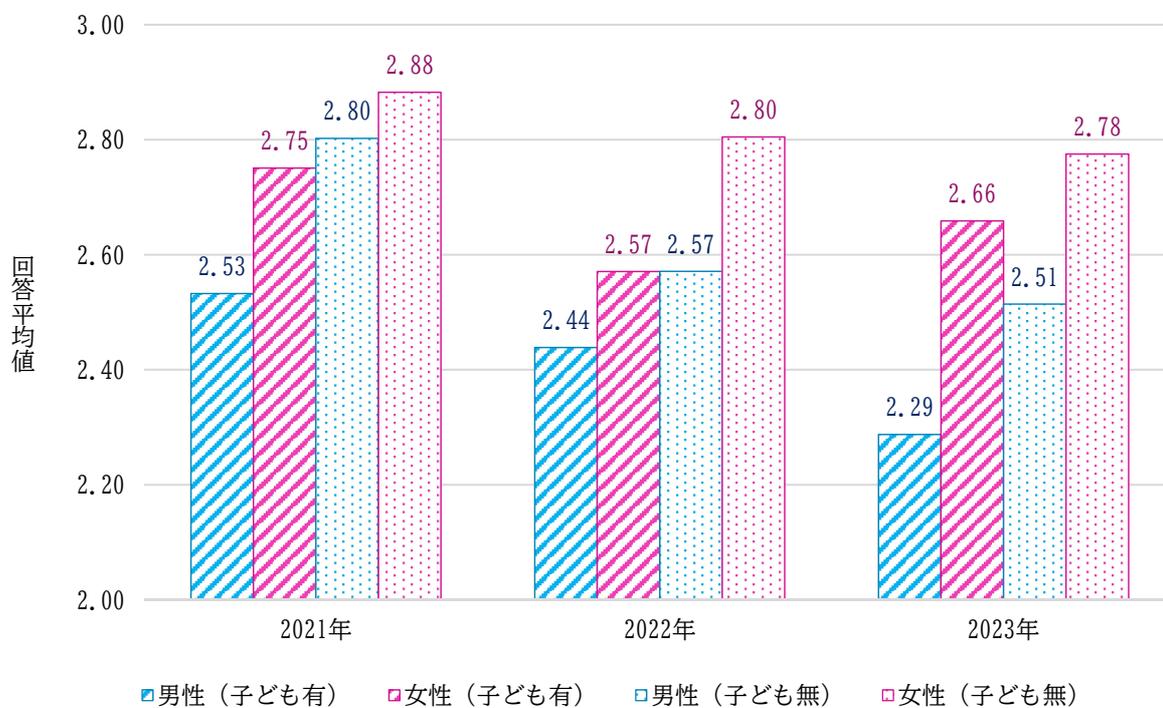
図10：子育てと仕事の両立がしやすいと思うか（地域別）



属性別の回答平均値は、図11のとおりである。

2023年調査では、子ども有の回答者と子ども無の回答者の双方で、男女間で統計的に有意な差があり、女性のほうが子育てと仕事の両立がしやすいと思っているようである。

図11：子育てと仕事の両立がしやすいと思うか（子ども有無・男女別）

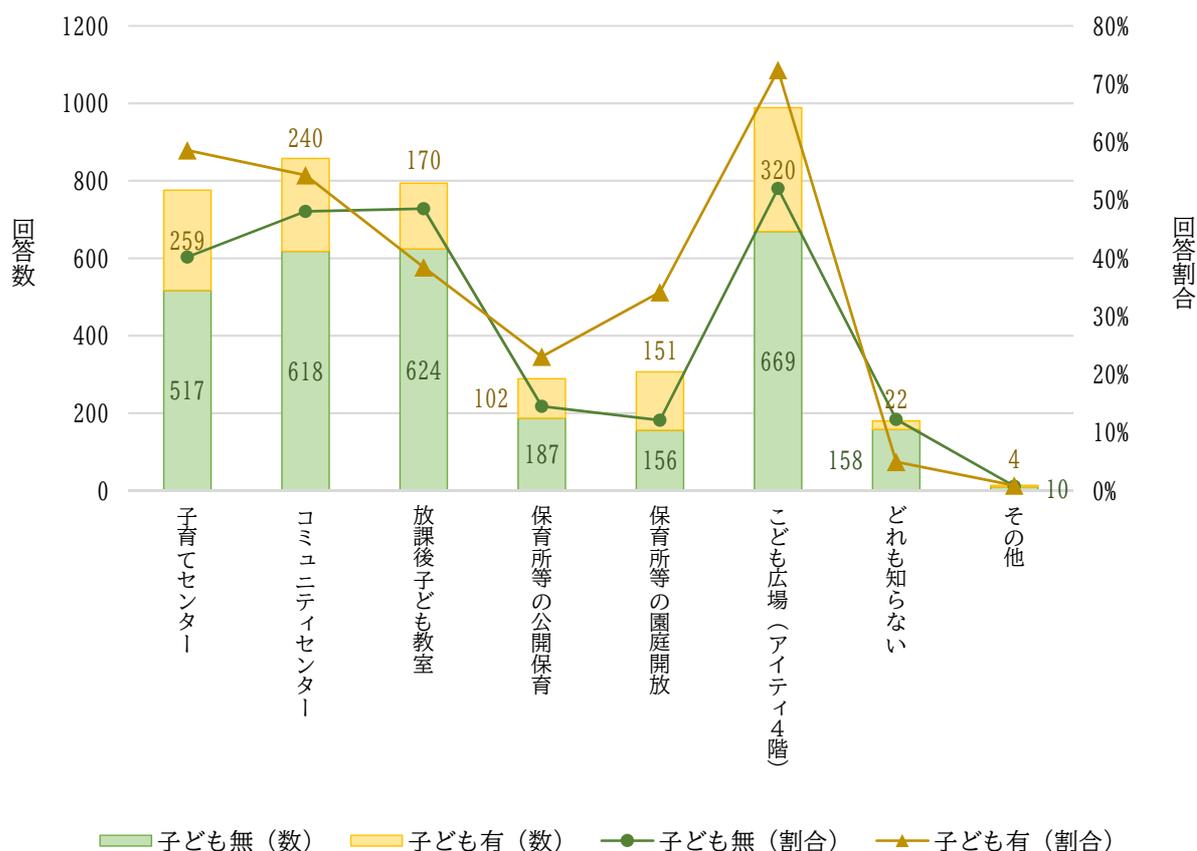


(4) 問15『子どもたちが集まって交流できる場所のうち、あなたが知っているものはどれですか』

2023年調査における、回答数と回答数に占める割合は、図12のとおりである。

「こども広場（アイティ4階）」は、今年度開設されたため今回の調査から追加した項目であるが、子ども有の回答者と子ども無の回答者の双方で回答数が最も多い結果となった。知っている割合も、子ども無の中では唯一50%を超えている。

図12：子どもたちが交流できる場所で知っているもの



(5) 問16『あなたのまわりの子どもたち（小学生・中学生）は、まわりの大人たちとのあいさつや会話が出来ますか』

これまでの調査における回答平均値は、表15のとおりである。
調査年間で統計的に有意な差はない。

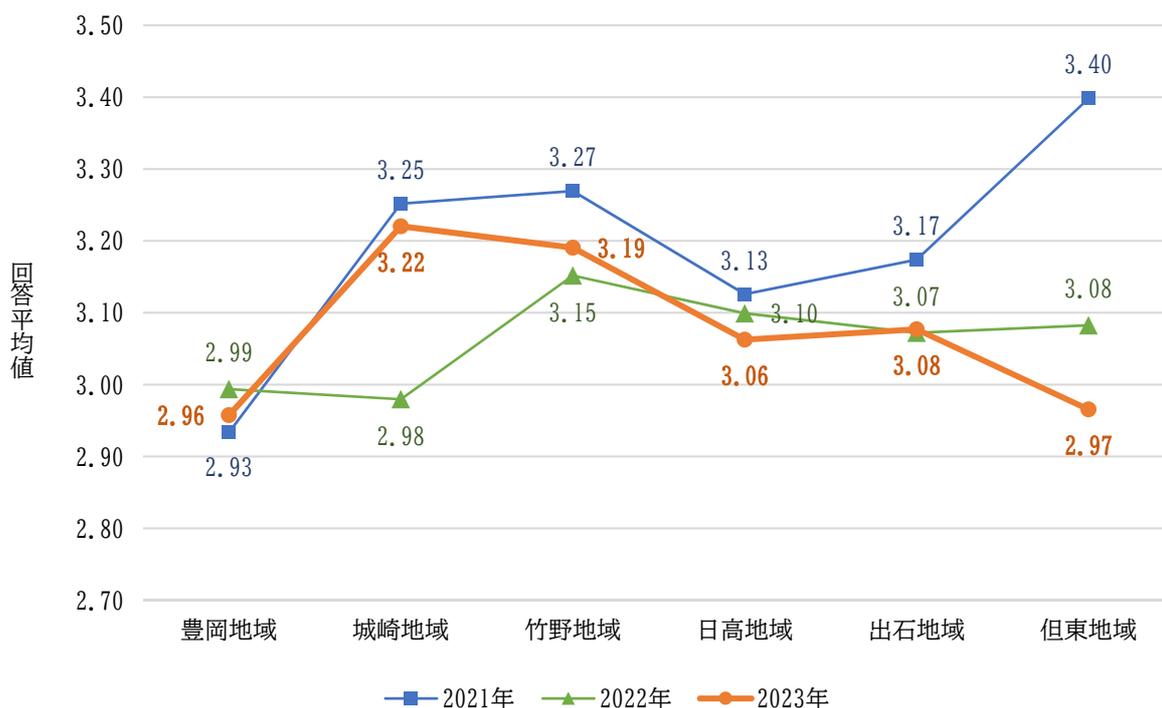
<表15：調査年ごとの回答平均値>

2021年調査	3.07
2022年調査	3.04
2023年調査	3.02

地域別の結果は、図13のとおりである。

2023年調査においては、城崎地域及び竹野地域と豊岡地域との間に統計的に有意な差がある。城崎地域や竹野地域では、豊岡地域と比べると子どもたちがまわりの大人たちとのあいさつや会話ができていると思われるようである。

図13：子どもたちは大人とあいさつや会話ができるか



(6) 問 17『あなたの地域では、お祭りなどの伝統行事に子どもたち（小学生・中学生）はどのくらい参加していますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 16 のとおりである。

2023 年調査と 2021 年調査の間には統計的に有意な差があり、2 年前との比較では否定的な回答が増加していると言える。

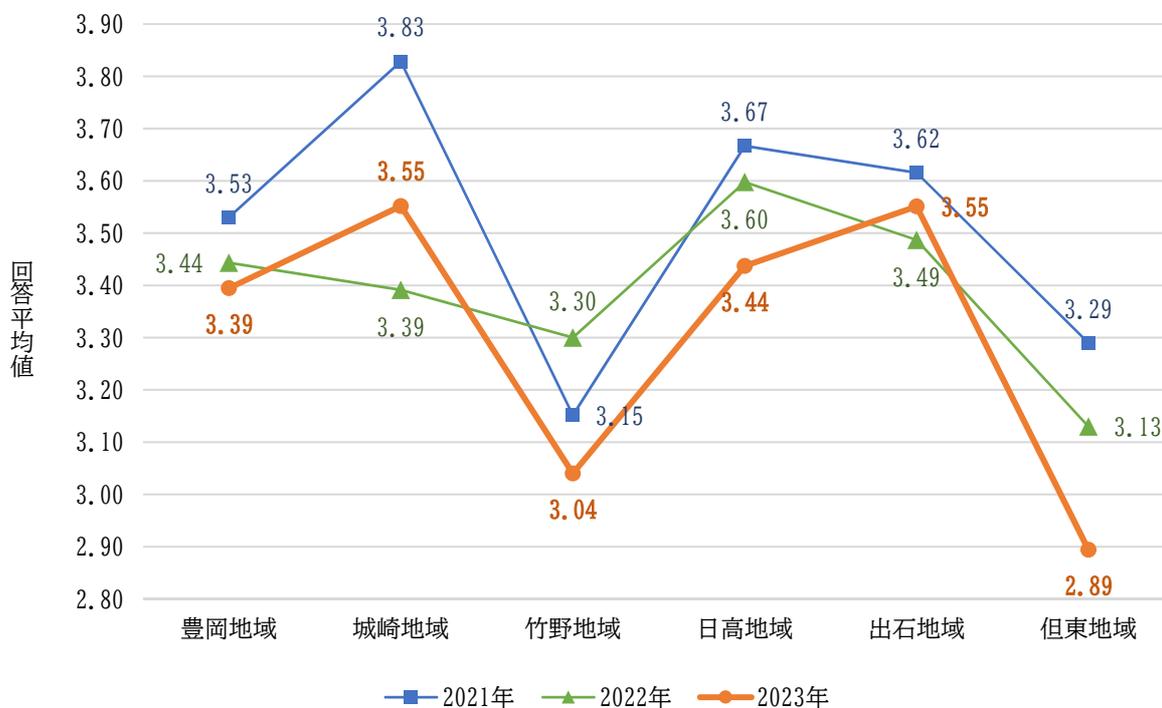
<表 16：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	3.55
2022 年調査	3.45
2023 年調査	3.38

地域別の結果は、図 14 のとおりである。

これまでの調査を通じて、城崎地域、日高地域及び出石地域の回答平均値が高く、竹野地域及び但東地域で低い傾向が続いている。2023 年調査においても、竹野地域と但東地域は他の地域に比べ有意に回答平均値が低く、これらの地域では子どもたちの伝統行事への参加が少ないと感じているようである。

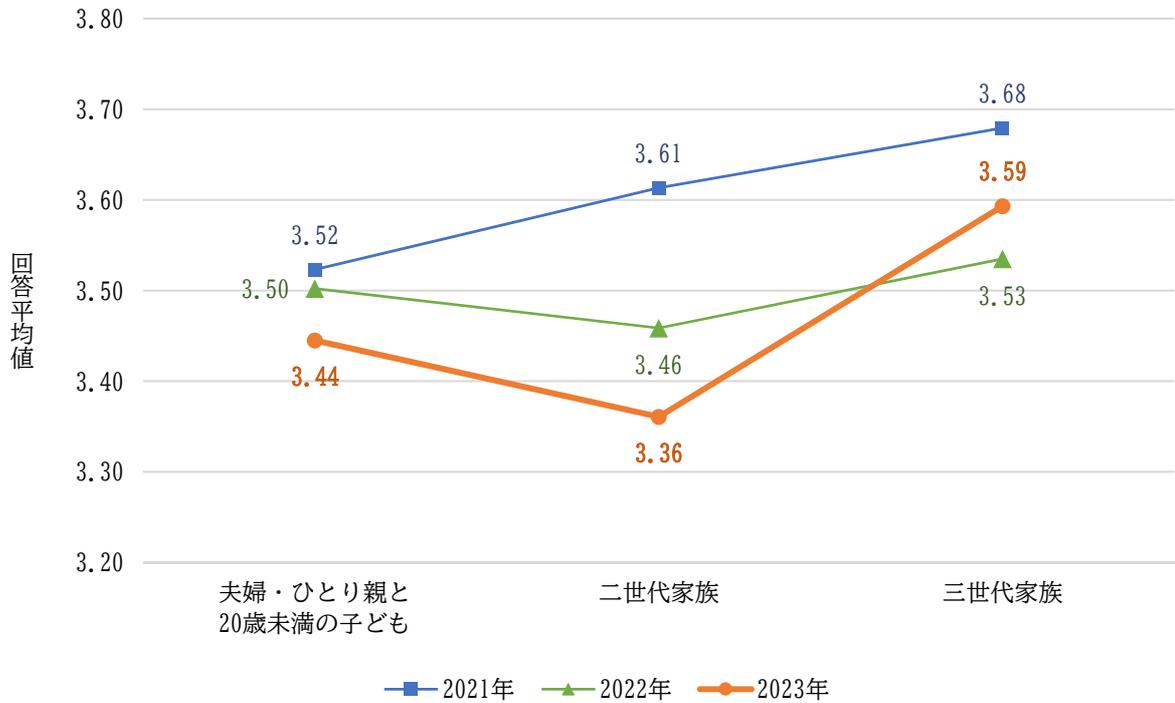
図14：子どもたちは伝統行事に参加しているか（地域別）



2023年調査における家族構成別の結果は、図15のとおりである。

2023年調査においては、「三世代家族」と「二世世代家族」との間に統計的に有意な差があり、親と子と孫の「三世代家族」の人は、親と20歳以上の子の「二世世代家族」の人よりも子どもたちが伝統行事に参加していると感じていると言える。

図15：子どもたちは伝統行事に参加しているか（家族構成別）



(7) 問 18『あなたのまわりの子どもたちは、豊岡に愛着を感じていると思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 17 のとおりである。

全体では 2023 年調査と 2021 年調査の間に統計的に有意な差があり、2 年前との比較では否定的な回答が増加していると言える。子ども有の回答平均値には、調査年の間で統計的に有意な差はない。

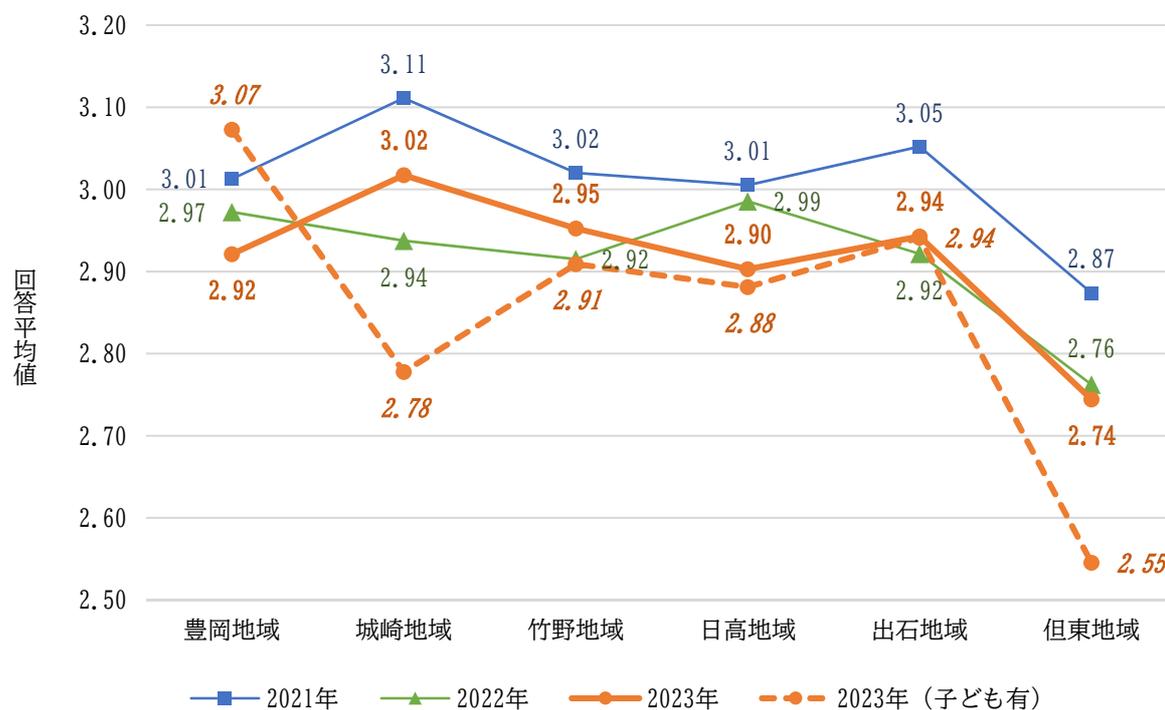
<表 17：調査年ごとの回答平均値>

	全体	子ども有
2021 年調査	3.02	3.09
2022 年調査	2.95	3.07
2023 年調査	2.91	2.98

地域別の結果は、図 16 のとおりである。

2023 年調査においては、全体と子ども有の双方で統計的に有意な差はない。

図16：子どもたちは豊岡に愛着を感じていると思うか



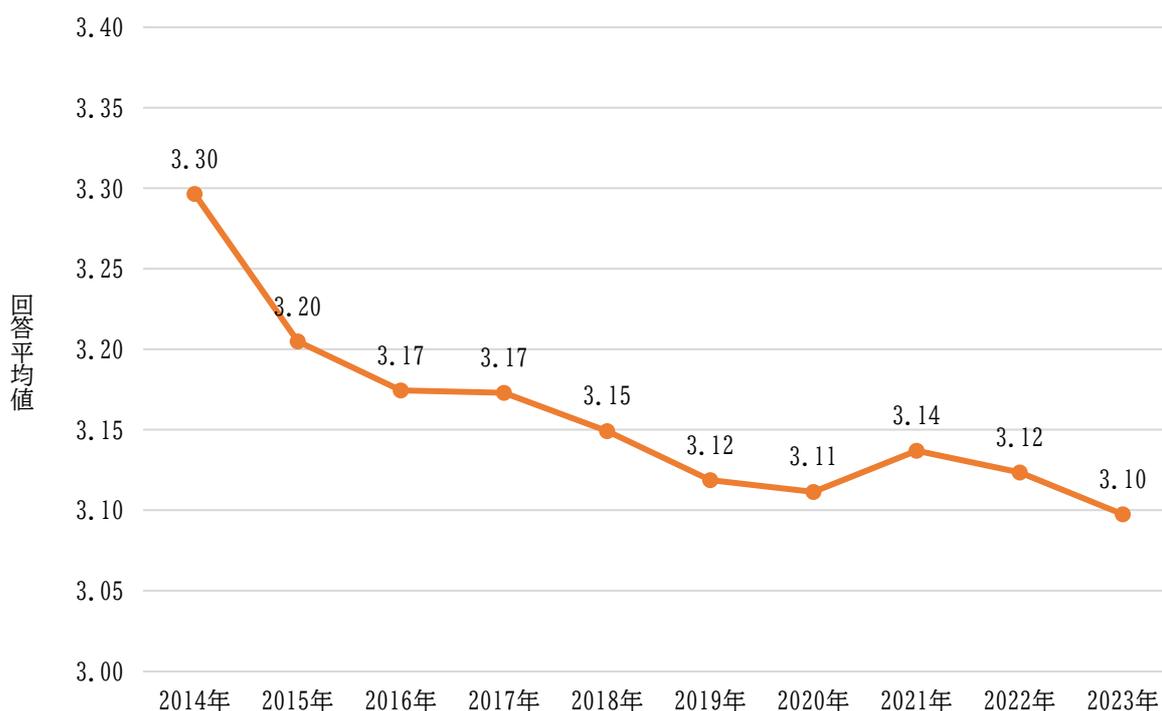
4 環境と経済について（問 19～問 20）

(1) 問 19『日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していますか』

これまでの調査における回答平均値は、図 17 のとおりである。

調査年ごとの回答平均値は、わずかずつではあるが低下傾向にある。ただし、この回答平均値の低下は、プラスチック使用量を削減した商品の選択や地産地消などの消費行動が身近になり、「意識して」環境に配慮した行動をとっていると思わなくなったためという可能性も考えられることから、結果の解釈については留意が必要であると思われる。

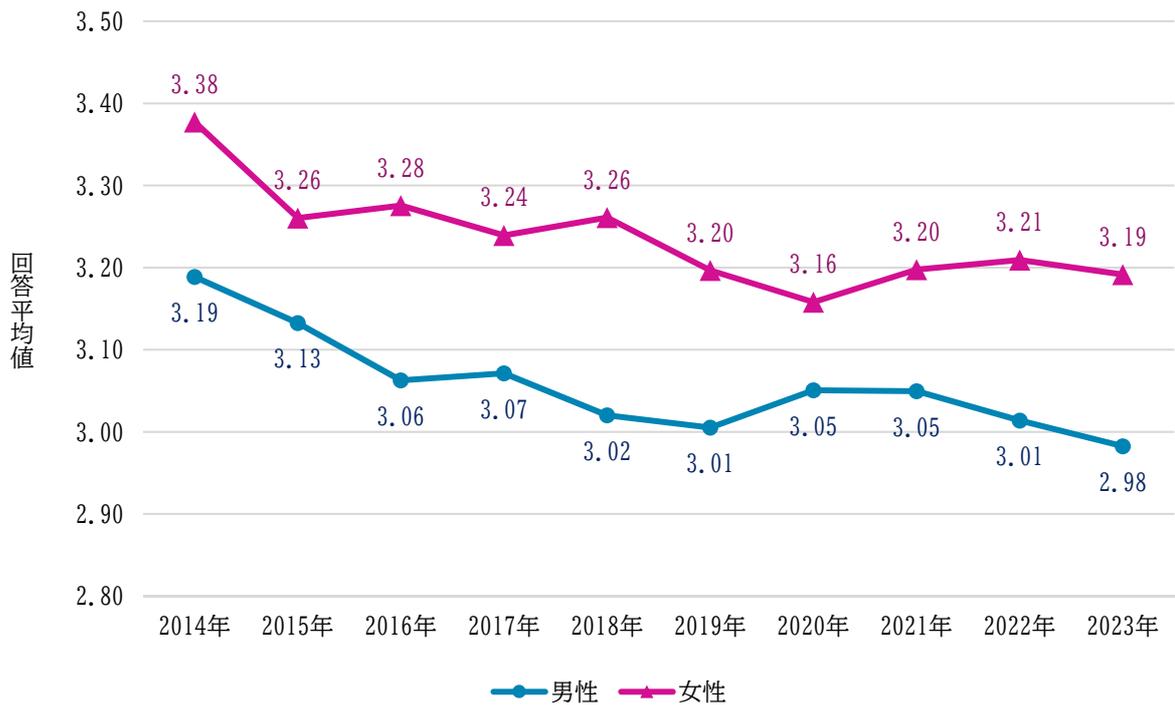
図17：環境に配慮した商品を意識して購入しているか



男女別の回答平均値は、図 18 のとおりである。

継続して男女間で統計的に有意な差がある。女性は男性に比べ、日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していると言える。

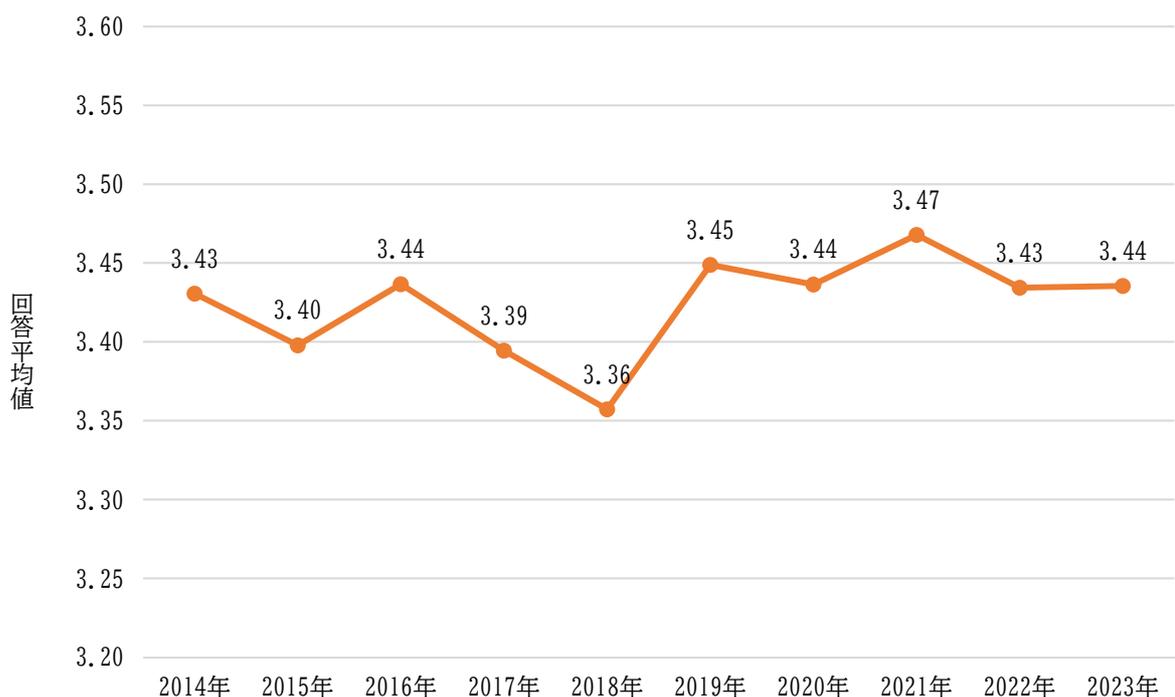
図18：環境に配慮した商品を意識して購入しているか（性別）



(2) 問 20『豊岡市の市民や事業者の皆さまによる環境を良くする取組みが、豊岡市の経済にもプラスになるとお考えですか』

これまでの調査における回答平均値は、図 19 のとおりである。
経年変化について、傾向は見られない。

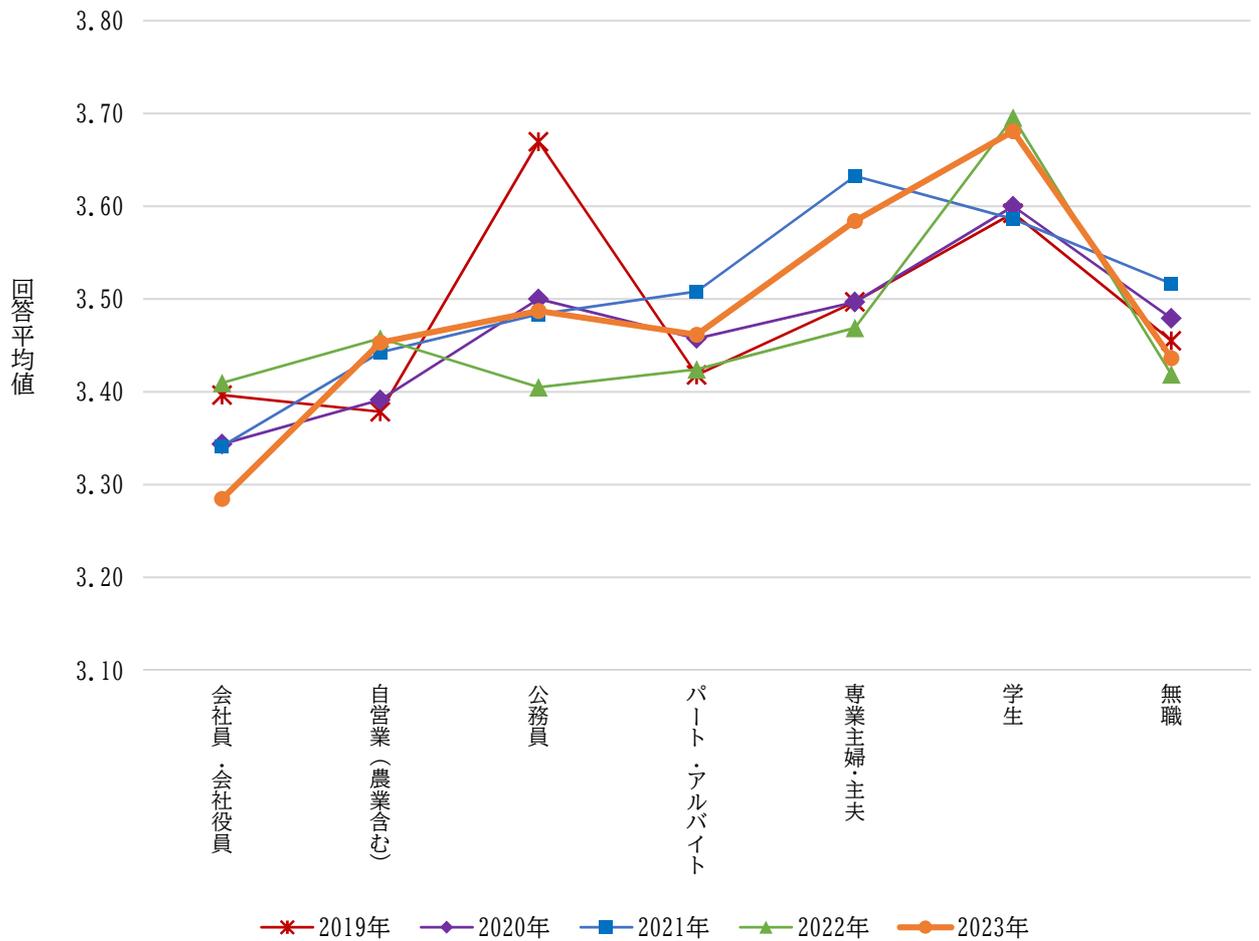
図19：環境を良くする取組みが豊岡市の経済にプラスになると思うか



職業別の結果は、図 20 のとおりである。ただし、回答数の少ない「NPO・NGO」、「その他」を除外している。

2019 年までは「公務員」の回答平均値が他の職業と比べて高い傾向にあったが、近年では「専業主婦・主夫」、「学生」が高い傾向にある。

図20：環境を良くする取組みが豊岡市の経済にプラスになると思うか
(職業別)



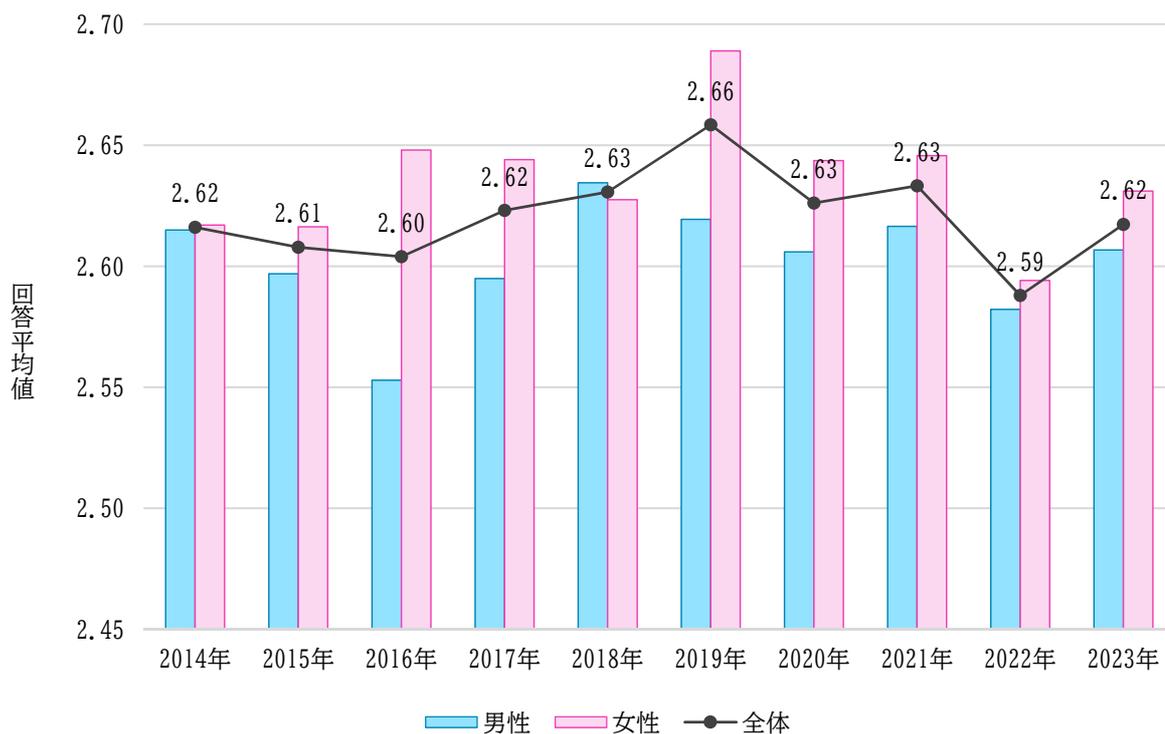
5 健康と運動について（問 21～問 25）

(1) 問 21『あなたは現在、自分が健康だと思いますか』

これまでの調査における、回答者全体と男女別の回答平均値は、図 21 のとおりである。
回答者全体と男女別の回答平均値について、2022 年調査と 2023 年調査の間に統計的に有意な差はない。

2023 年調査における男女別の回答平均値についても、統計的に有意な差はない。

図21：自分が健康だと思うか



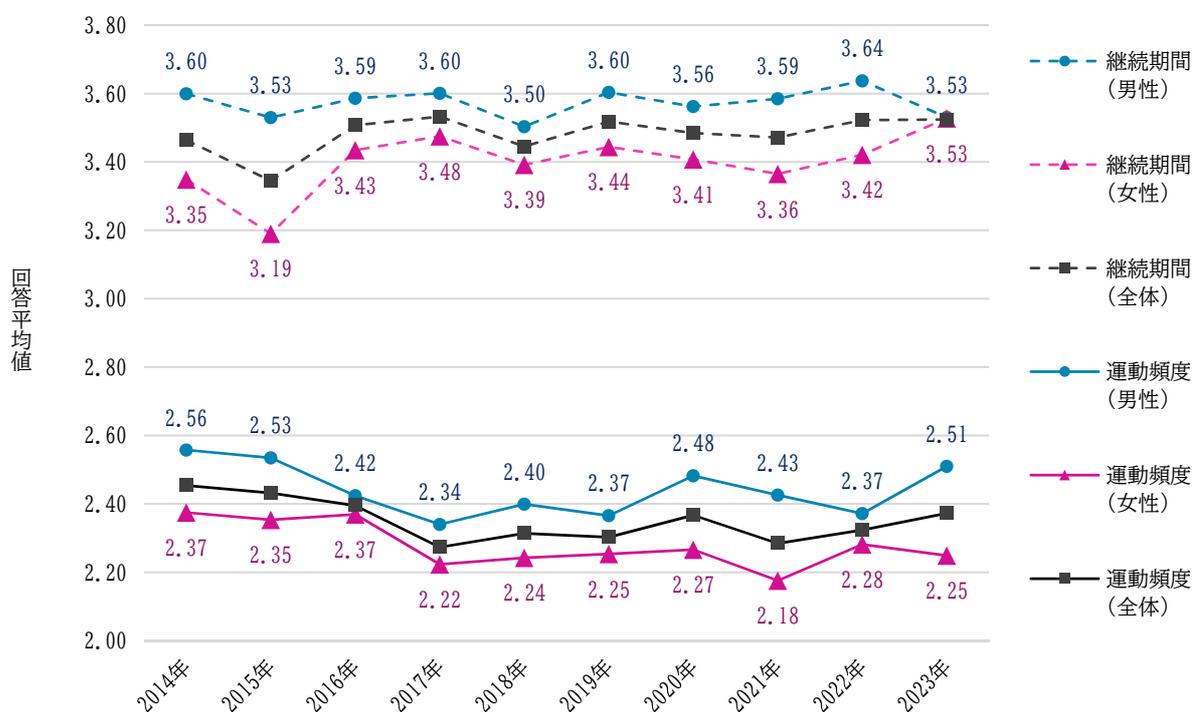
(2) 問 22『あなたは健康維持・増進のために運動（1日30分以上）をしていますか』
 問 23『その運動はどのくらい継続されていますか』

これまでの調査における回答平均値は、図 22 のとおりである。

回答者全体と男女別の回答平均値について、2022 年調査と 2023 年調査の間に統計的に有意な差はない。

これまでの調査から、問 22 と問 23 には男女間で統計的に有意な差があり、男性は女性に比べ、運動の頻度が高く継続期間も長いことが分かっている。ただし、2023 年調査においては、運動頻度では同様の結果となったが、継続期間については男女で同程度となっている。

図22：健康維持・増進のための運動頻度と継続期間



問 22 のこれまでの調査における男女別の回答割合は、表 18 のとおりである。

2016 年までは、運動を継続している人の中では「ほぼ毎日」という回答割合が最も高かったが、2017 年以降は「週に 1 日以下」の回答割合が高い傾向が見られる。

<表 18：問 22 の回答数に占める割合（調査年・男女別）>

単位：%

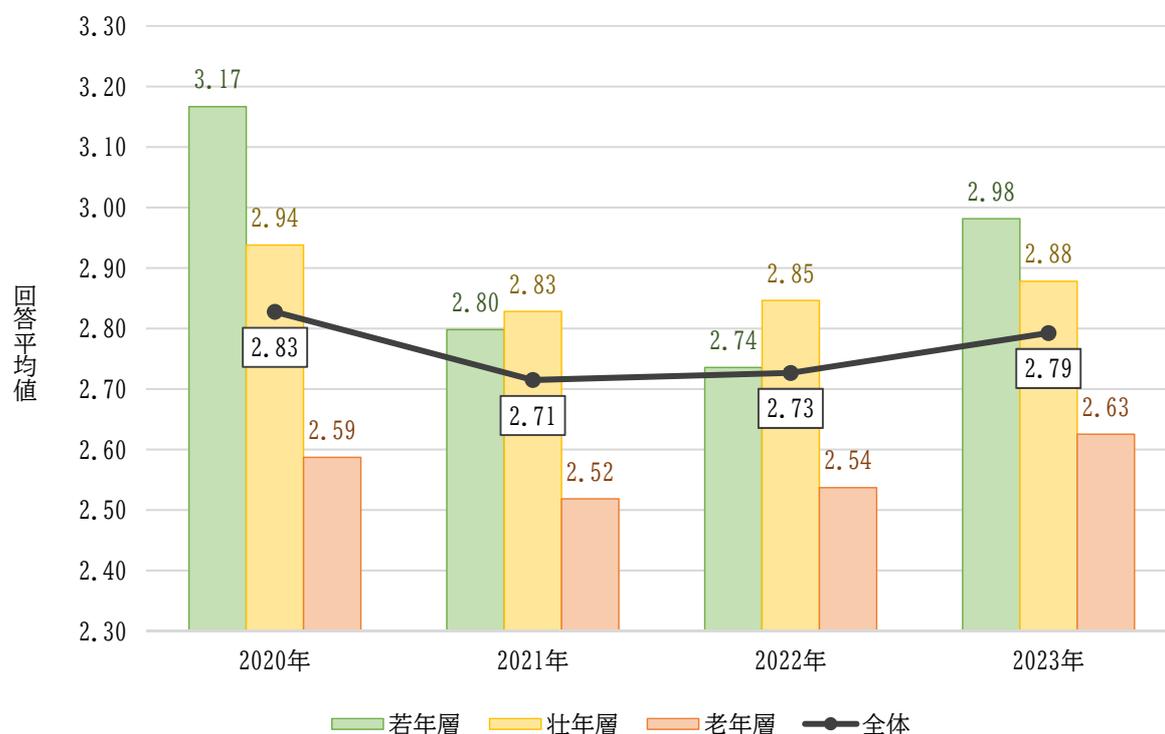
		ほ ぼ 毎 日	週 3 日 以 上	週 2 日	週 1 日 以 下	し て い な い
2014年調査	男性	19.0	14.6	11.9	12.1	42.4
	女性	15.3	13.5	12.0	11.7	47.5
2015年調査	男性	19.1	13.4	12.3	12.3	42.9
	女性	14.5	13.0	12.1	14.2	46.2
2016年調査	男性	17.3	12.2	11.4	13.7	45.4
	女性	15.6	12.4	11.8	13.9	46.3
2017年調査	男性	13.1	13.1	13.6	15.4	44.9
	女性	11.0	12.9	12.3	14.9	48.9
2018年調査	男性	14.9	12.8	12.8	16.1	43.3
	女性	11.3	13.6	11.2	15.6	48.2
2019年調査	男性	14.0	14.1	11.5	15.5	45.0
	女性	11.6	12.5	12.8	15.8	47.2
2020年調査	男性	17.1	13.6	11.1	16.8	41.4
	女性	12.2	11.8	14.1	14.2	47.6
2021年調査	男性	14.1	14.8	13.1	15.7	42.3
	女性	11.1	12.1	11.2	14.5	51.1
2022年調査	男性	13.1	14.8	12.2	16.1	43.8
	女性	11.0	14.1	13.6	14.6	46.7
2023年調査	男性	17.4	13.8	12.8	14.6	41.4
	女性	11.1	12.3	14.2	15.0	47.4

(3) 問 24『あなたは1年前と比べて、「歩くこと」など体を動かす健康づくりをする回数に変化はありますか』

これまでの調査における、回答者全体と年齢層別の回答平均値は、図 23 のとおりである。全体の回答平均値について、2022年調査と2023年調査との間に統計的に有意な差がある。2023年調査では2022年調査に比べ肯定的な回答が増加しており、体を動かす機会は増えているといえる。

年齢層別では、標本における回答平均値はすべての年齢層で昨年より上昇しているが、いずれも統計的に有意な差ではない。

図23：1年前と比べて体を動かす回数は変化したか

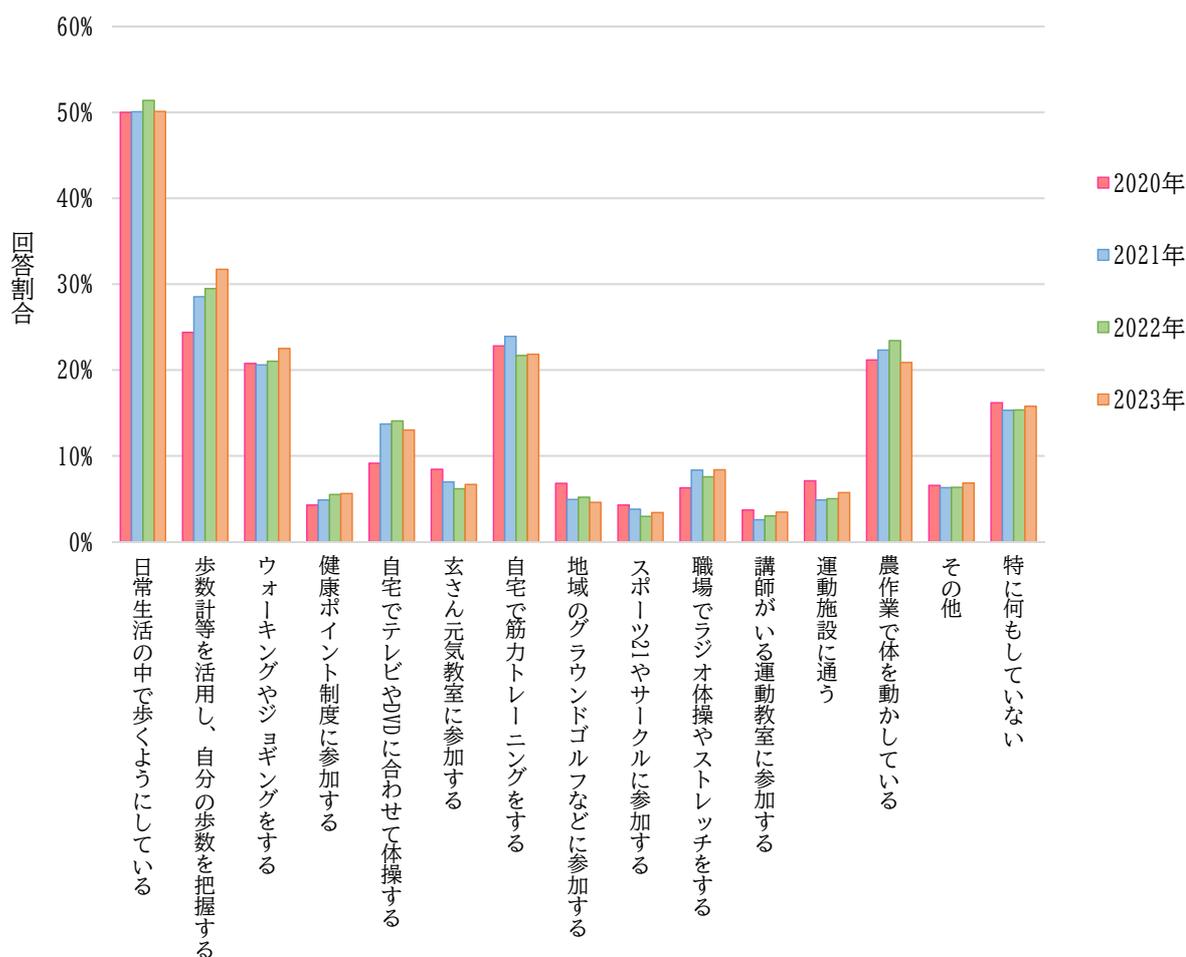


(4) 問 25『あなたは体を動かす健康づくりとして、どのようなことを実践していますか』

これまでの調査における回答数に占める割合は、図 24 のとおりである。

2020 年調査からの推移を見ると、「歩数計等の活用」の割合が特に上昇を続けている。効果が確認しやすく比較的継続もしやすいことから、日常生活やウォーキング・ジョギング等で活用する人が増えていると思われる。

図24：健康づくりとして実践していること



男女間で回答割合に差がある項目は下記のとおりである。これらはおおむね過去の調査を通じて同様の傾向である。

<男性のほうが回答割合の高い項目>

- ・「ウォーキングやジョギングをする」
- ・「地域のグラウンドゴルフなどに参加する」
- ・「農作業で体を動かしている」

<女性のほうが回答割合の高い項目>

- ・「自宅でテレビやDVDに合わせて体操する」
- ・「玄さん元気教室に参加する」
- ・「講師がいる運動教室に参加する」

2023年調査における、地域別の回答数及び回答数に占める割合は、表19のとおりである。

城崎地域では、「日常生活の中で歩く」や「歩数計等の活用」、「健康ポイント制度に参加」といった、歩くことに関する項目の回答割合が他の地域より高い。また、「玄さん元気教室に参加」の回答割合は、但東地域が最も高くなっている。

<表19：地域別の回答数及び回答数に占める割合>

	豊岡地域		城崎地域		竹野地域		日高地域		出石地域		但東地域	
	人数 (人)	割合 (%)										
日常生活の中で歩く	463	49.2	40	66.7	57	52.8	190	54.1	83	42.8	42	47.7
歩数計等を活用し自分の歩数を把握	289	30.7	27	45.0	32	29.6	119	33.9	53	27.3	31	35.2
ウォーキングやジョギング	192	20.4	15	25.0	23	21.3	89	25.4	50	25.8	19	21.6
健康ポイント制度に参加	48	5.1	11	18.3	5	4.6	16	4.6	15	7.7	2	2.3
自宅でテレビやDVDに合わせて体操	132	14.0	7	11.7	16	14.8	41	11.7	20	10.3	9	10.2
玄さん元気教室に参加	47	5.0	4	6.7	10	9.3	31	8.8	12	6.2	12	13.6
自宅での筋力トレーニング	207	22.0	10	16.7	22	20.4	74	21.1	45	23.2	20	22.7
地域のグラウンドゴルフなどに参加	37	3.9	3	5.0	4	3.7	22	6.3	7	3.6	7	8.0
スポーツ21やサークルに参加	35	3.7	3	5.0	3	2.8	10	2.8	5	2.6	3	3.4
職場でのラジオ体操やストレッチ	75	8.0	7	11.7	6	5.6	31	8.8	19	9.8	6	6.8
講師がいる運動教室に参加	41	4.4	1	1.7	2	1.9	10	2.8	4	2.1	1	1.1
運動施設に通う	62	6.6	4	6.7	4	3.7	20	5.7	8	4.1	2	2.3
農作業で体を動かしている	158	16.8	7	11.7	36	33.3	84	23.9	44	22.7	34	38.6
その他	63	6.7	9	15.0	13	12.0	23	6.6	9	4.6	3	3.4
特に何もしていない	148	15.7	7	11.7	17	15.7	53	15.1	35	18.0	15	17.0

6 公共交通について（問 26～問 29）

(1) 問 26『あなたは外出の際、移動手段について不便に感じることがありますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 20 のとおりである。

2022 年調査と 2021 年調査の間には統計的に有意な差があり、否定的な回答が増加している。2023 年調査と 2022 年調査の間には統計的に有意な差はない。

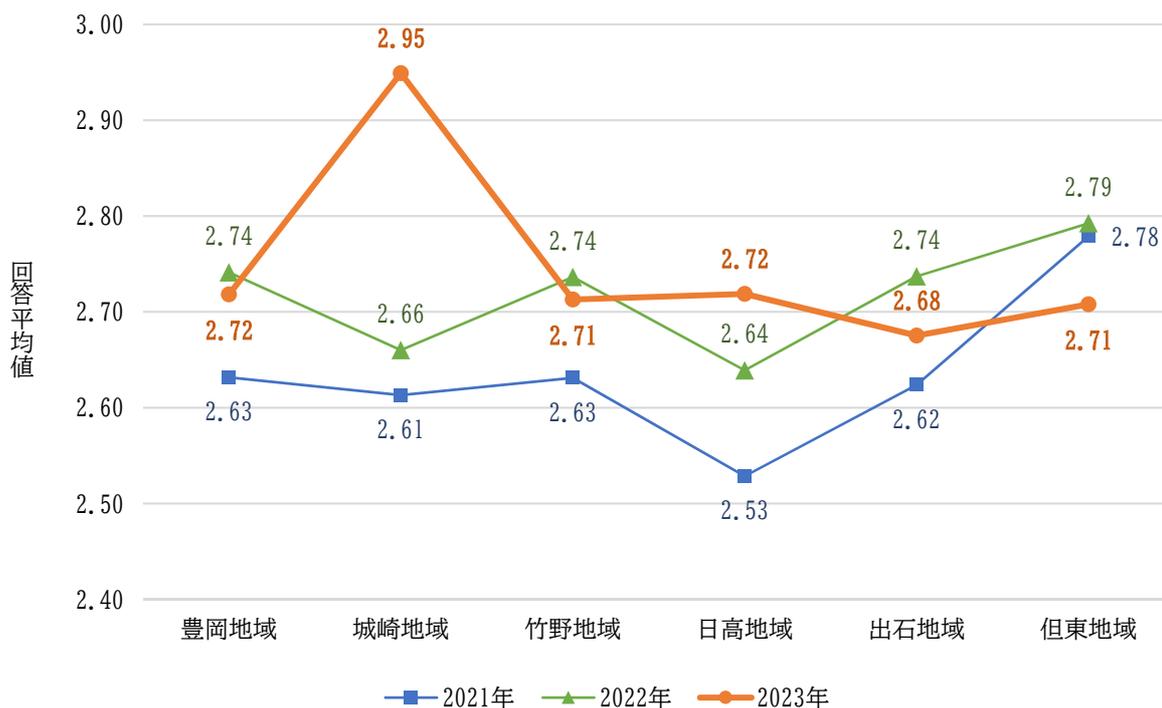
<表 20：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.62
2022 年調査	2.72
2023 年調査	2.72

地域別の結果は、図 25 のとおりである。

2023 年調査においては、地域間で統計的に有意な差はない。

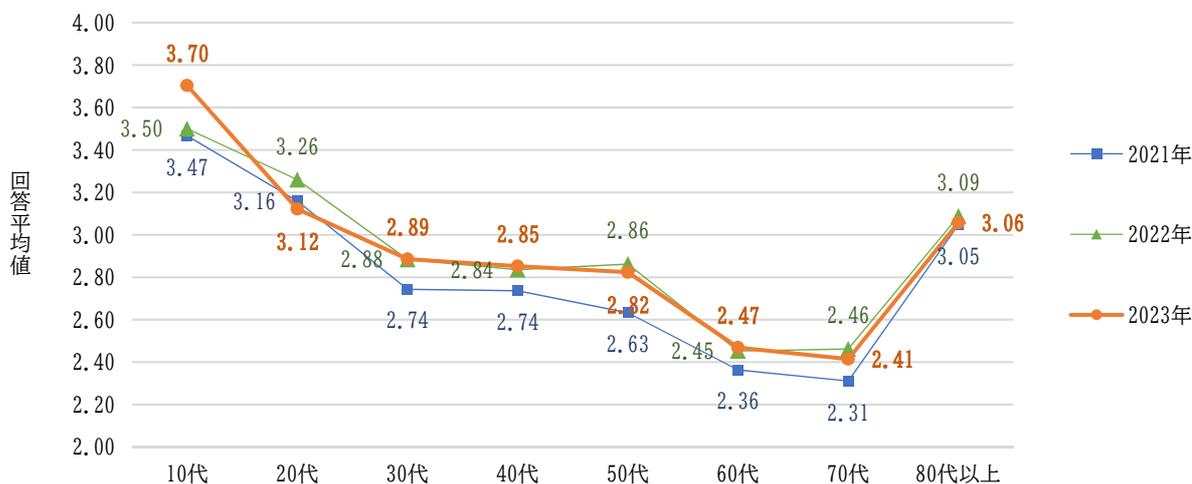
図 25：外出の際の移動手段に不便を感じるかどうか（地域別）



年代別の結果は、図 26 のとおりである。

これまでの調査から、60代及び70代と他の全ての年代との間で統計的に有意な差があることが分かっている。60代及び70代は他の年代に比べ、移動手段の不便を感じていないと言える。

図26：外出の際の移動手段に不便を感じることもあるか（年代別）

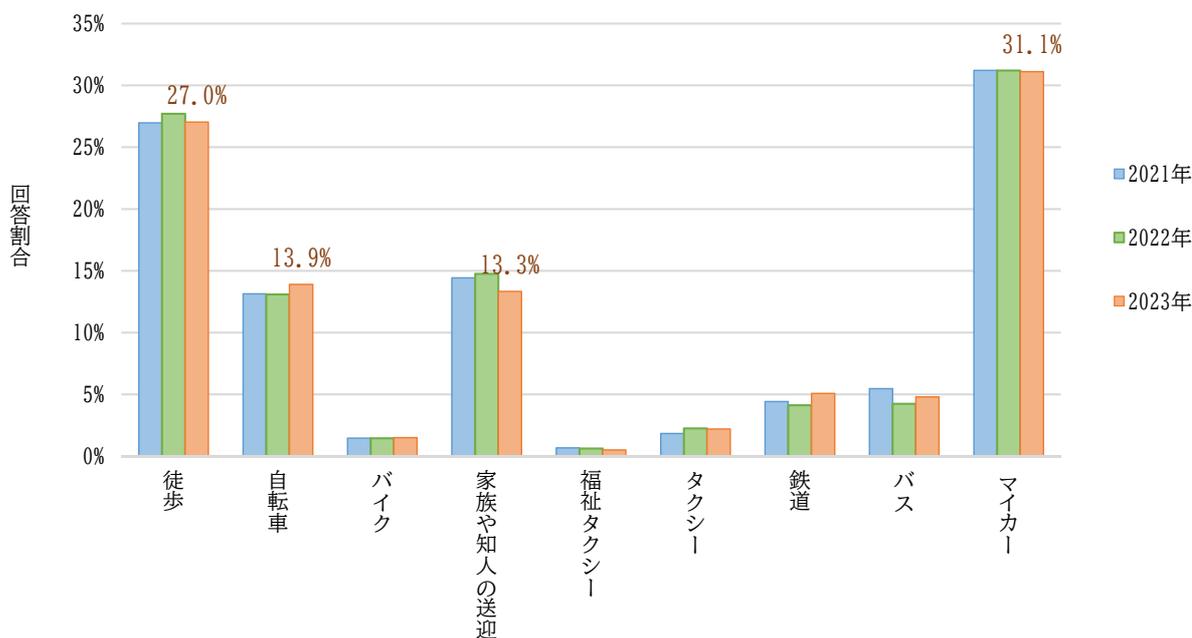


(2) 問 27『あなたは、日常生活で移動するとき、主にどの手段で移動しますか』

これまでの調査における3番目までの選択肢に対する回答数と全回答数に占める割合は、図 27 のとおりである。

2023年調査では、「マイカー」(31.1%)、「徒歩」(27.0%)、「自転車」(13.9%)「家族や知人の送迎」(13.3%)の順で割合が高い。

図27：日常生活での移動手段



2023年調査における3番目までの選択肢に対する回答数と全回答数に占める割合について、地域別の結果は表21のとおりである。

指標となる公共交通の「鉄道」及び「バス」の項目を太囲みで表示している。

昨年と比較すると、「鉄道」の回答割合が竹野地域で3.4ポイント、日高地域で1.4ポイント上昇した。一方、「バス」の回答割合は城崎地域で1.2ポイント、但東地域で1.3ポイント低下した。

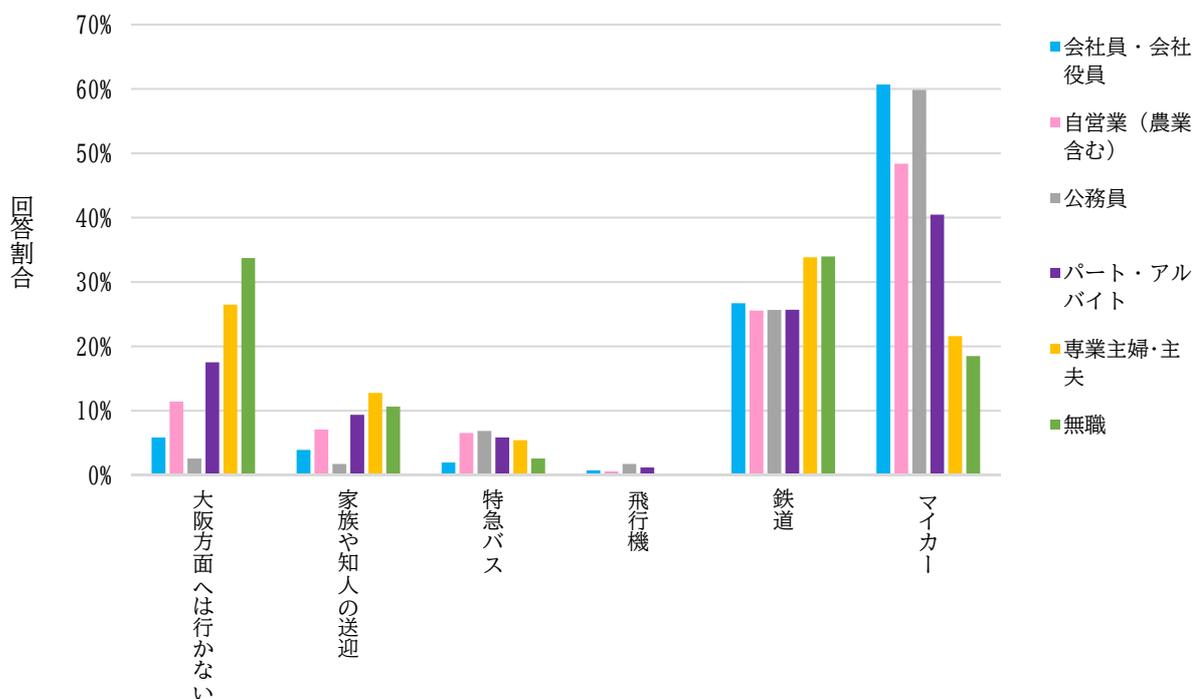
<表21：地域別の回答数及び回答数に占める割合>

	豊岡地域		城崎地域		竹野地域		日高地域		出石地域		但東地域	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
徒 歩	681	27.4	40	24.8	70	26.5	230	25.5	149	29.0	53	26.1
自 転 車	383	15.4	25	15.5	31	11.7	96	10.6	76	14.8	17	8.4
バ イ ク	37	1.5	4	2.5	1	0.4	15	1.7	5	1.0	4	2.0
家 族 や 知 人 の 送 迎	324	13.1	13	8.1	41	15.5	125	13.9	70	13.6	32	15.8
福祉タクシー	9	0.4	0	0	0	0	11	1.2	0	0	2	1.0
タ ク シ ー	85	3.4	1	0.6	0	0	12	1.3	2	0.4	1	0.5
鉄 道	106	4.3	16	9.9	21	8.0	66	7.3	16	3.1	5	2.5
バ ス	120	4.8	9	5.6	14	5.3	46	5.1	22	4.3	8	3.9
マ イ カ ー	723	29.1	52	32.3	84	31.8	299	33.1	171	33.3	78	38.4

(3) 問 28『あなたは大阪方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか』
問 29『あなたは東京方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか』

職業別の回答数に占める割合は、図 28（大阪方面）、図 29（東京方面）のとおりである。ただし、回答数が少ない職業（「学生」、「NGO・NPO」及び「その他」）を除外している。

図28：大阪方面へ移動する際の主な交通手段（職業別）



問 28（大阪方面）の職業別の回答数に占める割合について、2023 年調査と 2022 年調査との差は、表 22 のとおりである。

「大阪方面へは行かない」の回答割合が、自営業で 7.7 ポイント、会社員・会社役員で 2.6 ポイント、公務員で 2.4 ポイント低下した。また、公務員では「鉄道」の回答割合が 8.3 ポイント上昇している。

<表 22：2023 年調査と 2022 年調査の差>

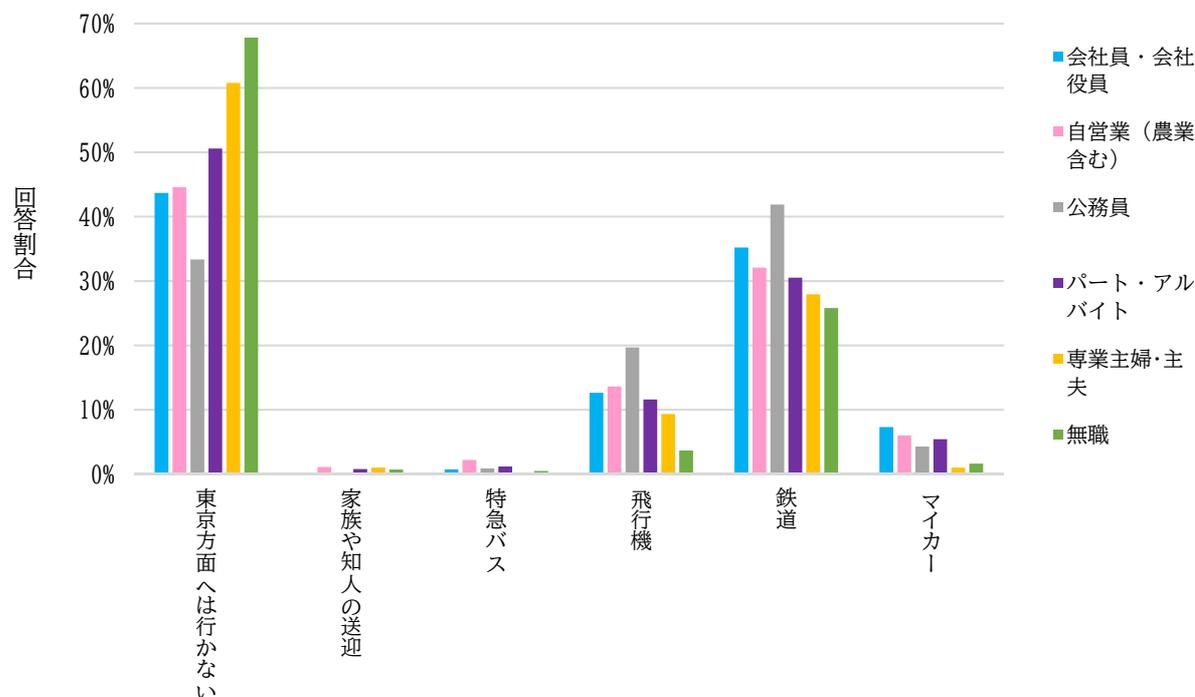
単位：%

	会社員・会社役員	自営業（農業含む）	公務員	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	無職
大阪方面へは行かない	-2.6	-7.7	-2.4	4.5	-1.0	0.6
家族や知人の送迎	0.3	-0.2	-4.1	0.1	0.1	2.4
特急バス	-1.9	3.2	-2.3	-0.3	2.6	-1.6
飛行機	0.0	-0.6	0.9	0.4	-4.2	-1.2
鉄道	2.1	-0.3	8.3	-6.5	2.1	1.9
マイカー	2.2	6.2	-2.2	1.8	0.4	-2.6

問 29（東京方面）については、公務員以外は4割以上が「東京方面へは行かない」と回答している。

大阪方面と比べると、東京方面へは職業にかかわらず「飛行機」の利用割合が高くなっていることが分かる。

図29：東京方面へ移動する際の主な交通手段（職業別）



問 29（東京方面）の職業別の回答数に占める割合について、2023年調査と2022年調査との差は、表 23 のとおりである。

「東京方面へは行かない」の回答割合が、自営業で7.1ポイント、パート・アルバイトで4.8ポイント、会社員・会社役員で3.9ポイント低下した。また、パート・アルバイトでは「鉄道」の回答割合が5.1ポイント上昇している。

<表 23：2023年調査と2022年調査の差>

単位：%

	会社員・会社役員	自営業（農業含む）	公務員	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	無職
東京方面へは行かない	-4.2	-6.8	-0.8	-4.8	0.6	5.0
家族や知人の送迎	-0.2	1.1	-1.7	0.4	0.3	-0.8
特急バス	0.0	1.6	-1.6	-0.4	0	-0.1
飛行機	2.6	2.3	3.0	-1.5	0.9	-1.9
鉄道	1.1	-0.7	1.9	5.1	1.4	-2.6
マイカー	1.2	3.2	1.8	1.2	-3.2	0.3

7 食と農業について（問 30～問 31）

(1) 問 30『あなたは家庭で作る食事に、オーガニック、無農薬、減農薬の食材・食品を使っていますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 24 のとおりである。
調査年の間で統計的に有意な差はない。

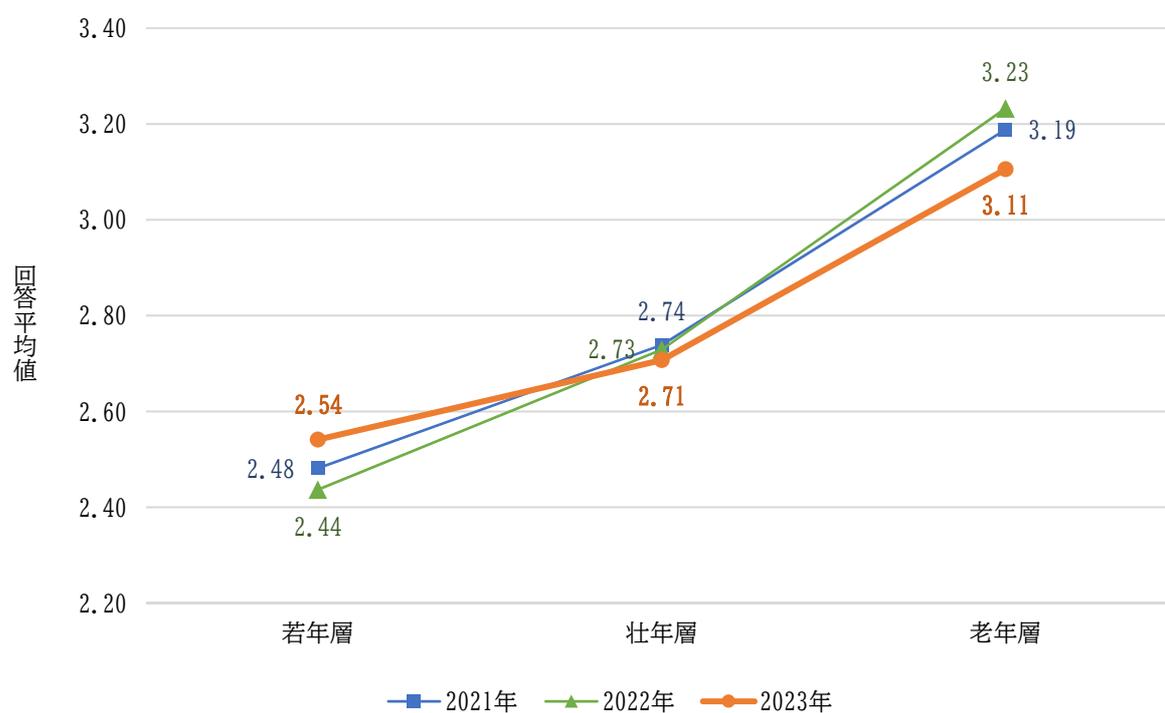
<表 24：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.88
2022 年調査	2.90
2023 年調査	2.84

年齢層別の結果は、図 30 のとおりである。

これまでの調査から、老年層と若年層及び壮年層との間で統計的に有意な差があることが分かっており、老年層は他の年齢層に比べ、オーガニック等の食材・食品の使用頻度が高いと言える。

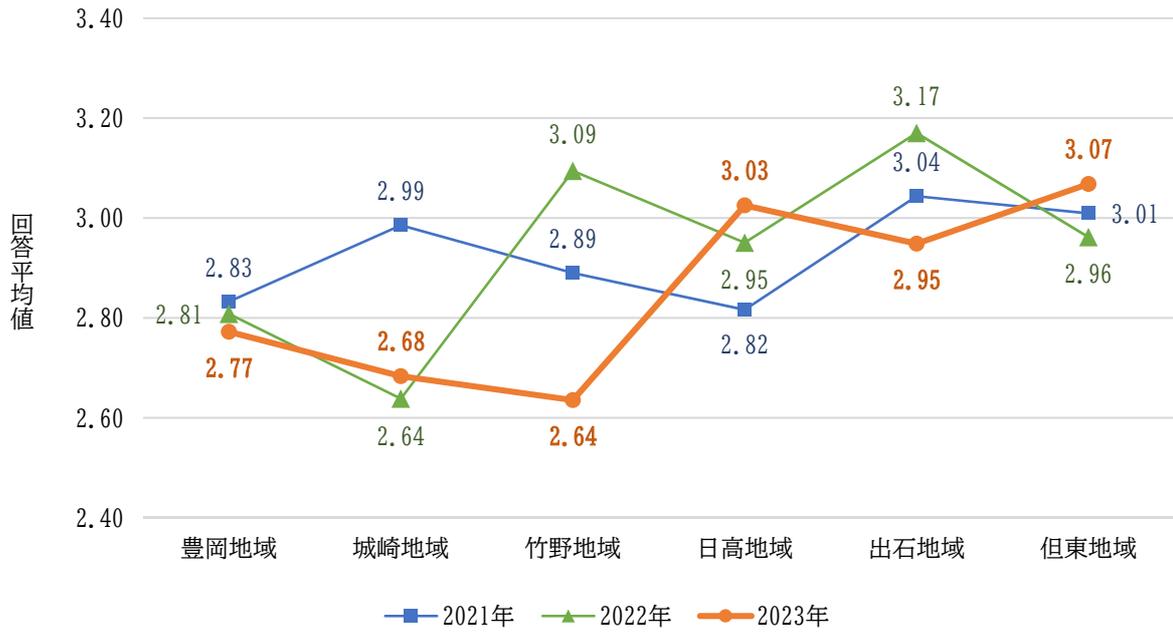
図30：オーガニック等の食材・食品を使っているか（年齢層別）



これまでの調査における地域別の結果は、図 31 のとおりである。

2023 年調査においては、地域間で統計的に有意な差がある。日高地域及び但東地域の回答平均値は、豊岡地域、城崎地域及び竹野地域に比べ有意に高く、これらの地域間ではオーガニック等の食材・食品の使用頻度に差があると言える。

図31：オーガニック等の食材・食品を使っているか（地域別）



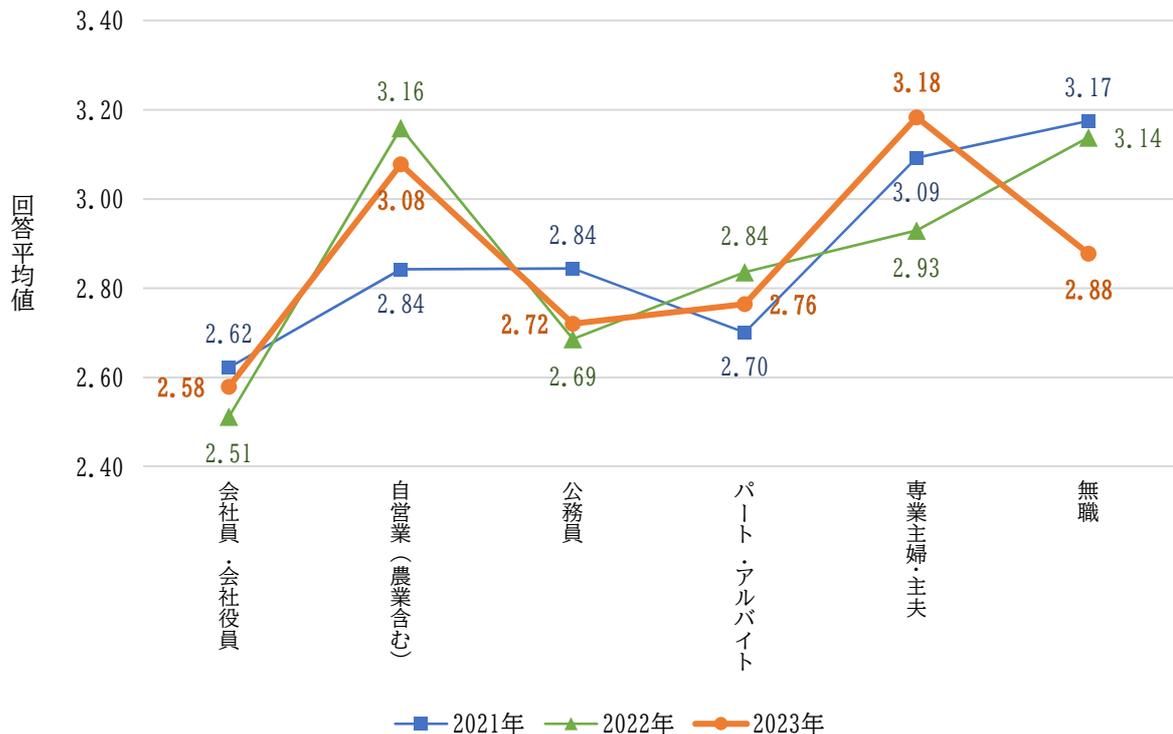
また、これまでの調査における職業別の結果は、図 32 のとおりである。

2023 年調査においては、「専業主婦・主夫」の回答平均値が他の職業に比べ有意に高い。

「自営業」も「無職」を除く他の職業に比べて有意に高くなっている。

昨年との比較では、「無職」の回答平均値が有意に低下しており、オーガニック等の食材・食品の使用頻度が低下したと言える。

図32：オーガニック等の食材・食品を使っているか（職業別）

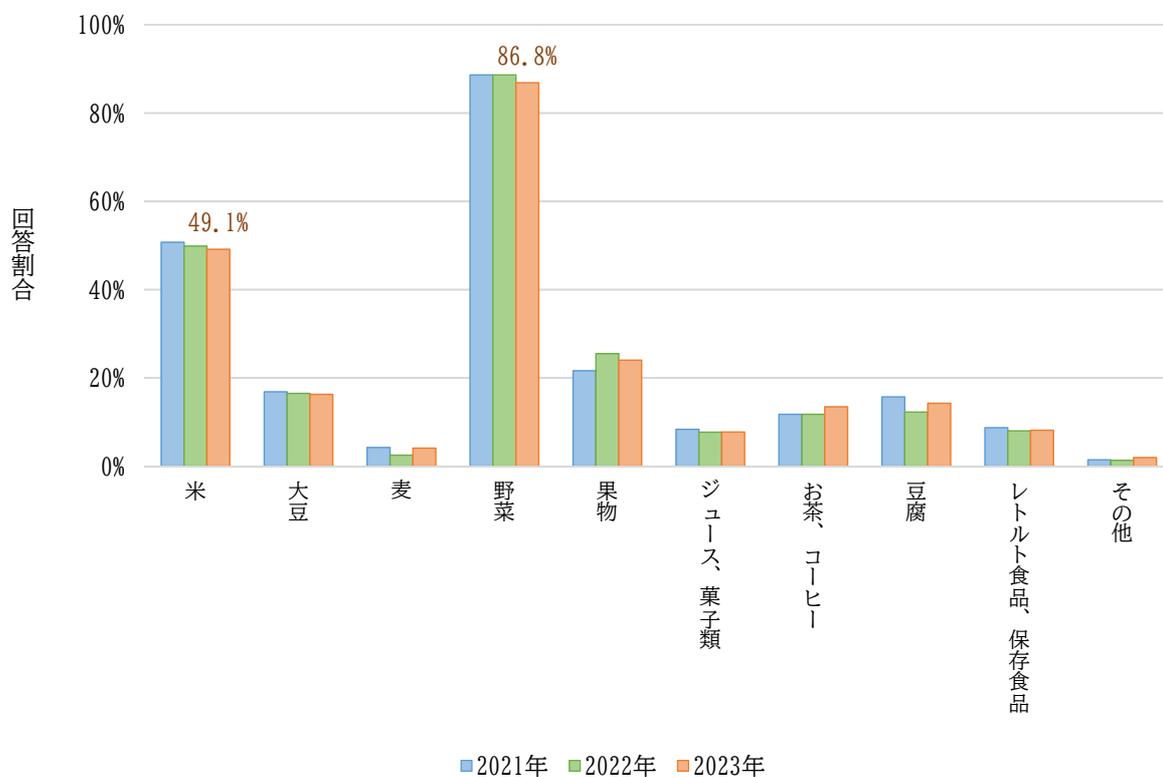


(2) 問 31『使っているオーガニック、無農薬、減農薬の食材はどのようなものですか』

これまでの調査における、回答数に占める回答割合は、図 33 のとおりである。

「野菜」及び「米」と回答する人が多い。

図33：使っているオーガニック等の食材



2023年調査における「その他」での自由記述では、これまでの調査と同様、味噌や醤油などの調味料という回答が多かった。

8 地域の歴史、伝統、文化芸術（問 32～問 37）

(1) 問 32『あなたは、地域の歴史、伝統、文化を「わが町の誇りだ」と感じますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 25 のとおりである。

調査年の間で統計的に有意な差はない。

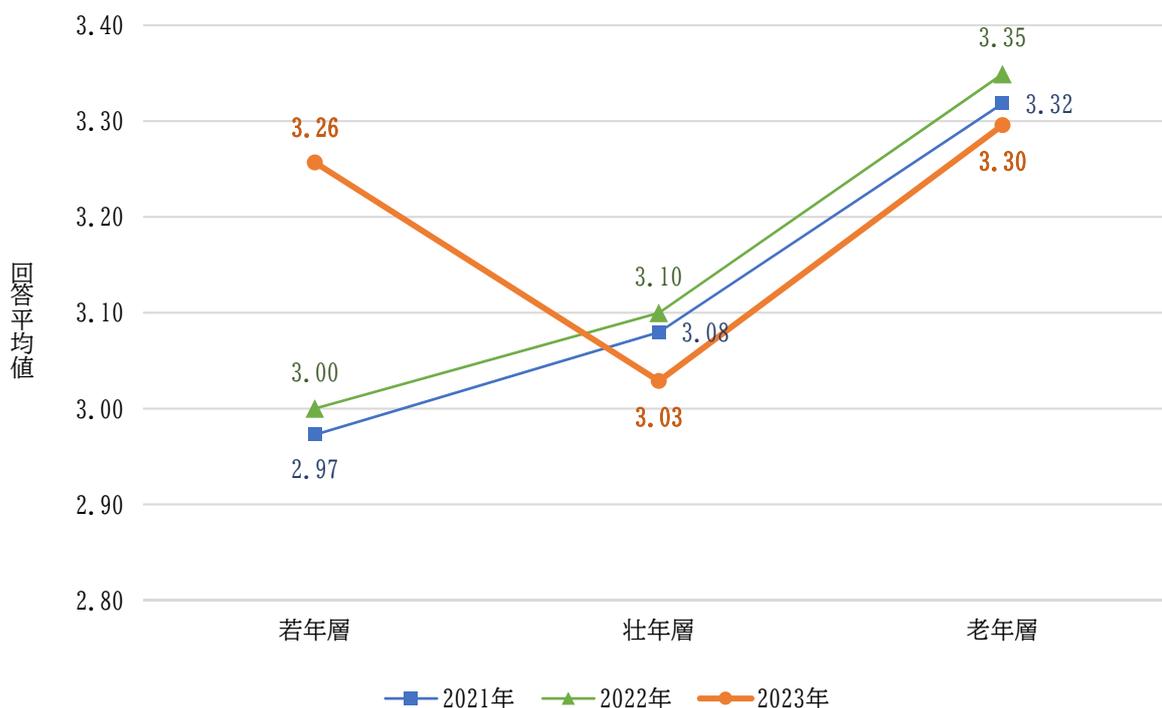
<表 25：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	3.15
2022 年調査	3.18
2023 年調査	3.14

年齢層別の結果は、図 34 のとおりである。

これまでの調査では、若年層で低く老年層で高い傾向が続いていたが、2023 年調査では若年層の回答平均値が老年層と同程度まで上昇した。ただし、昨年との差は統計的に有意な差ではない。

図34：地域の歴史等を誇りに思うか（年齢層別）

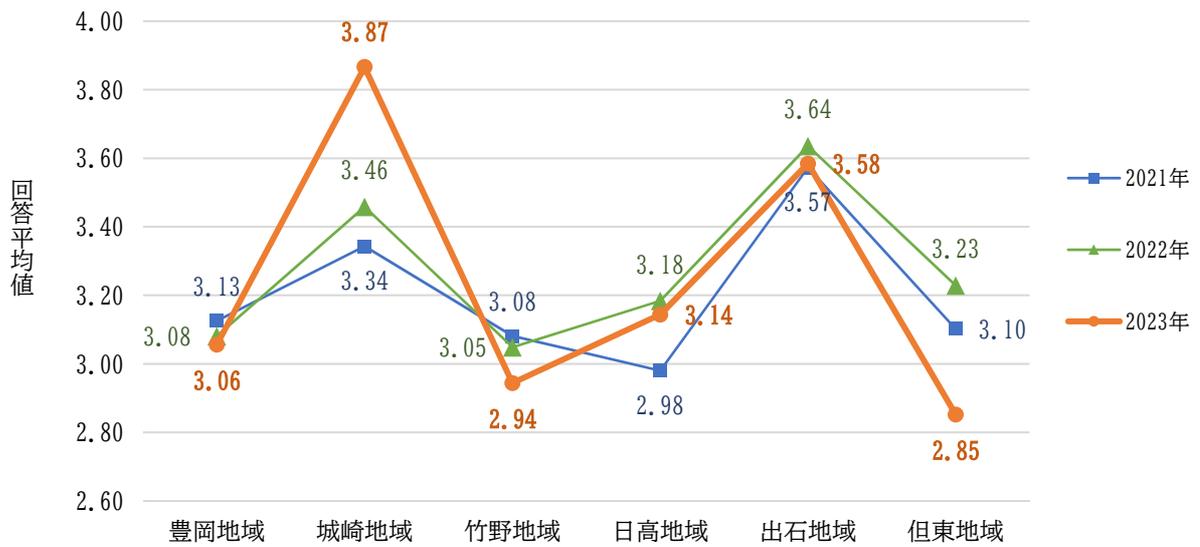


地域別の結果は、図 35 のとおりである。

これまでの調査を通じて、城崎地域及び出石地域と他の地域との間に統計的に有意な差があり、この2地域は他の地域に比べ、地域の歴史等を誇りに思っていると言える。

昨年との比較では、城崎地域と但東地域において統計的に有意な差があり、城崎地域では肯定的な回答が、但東地域では否定的な回答が増加したと言える。

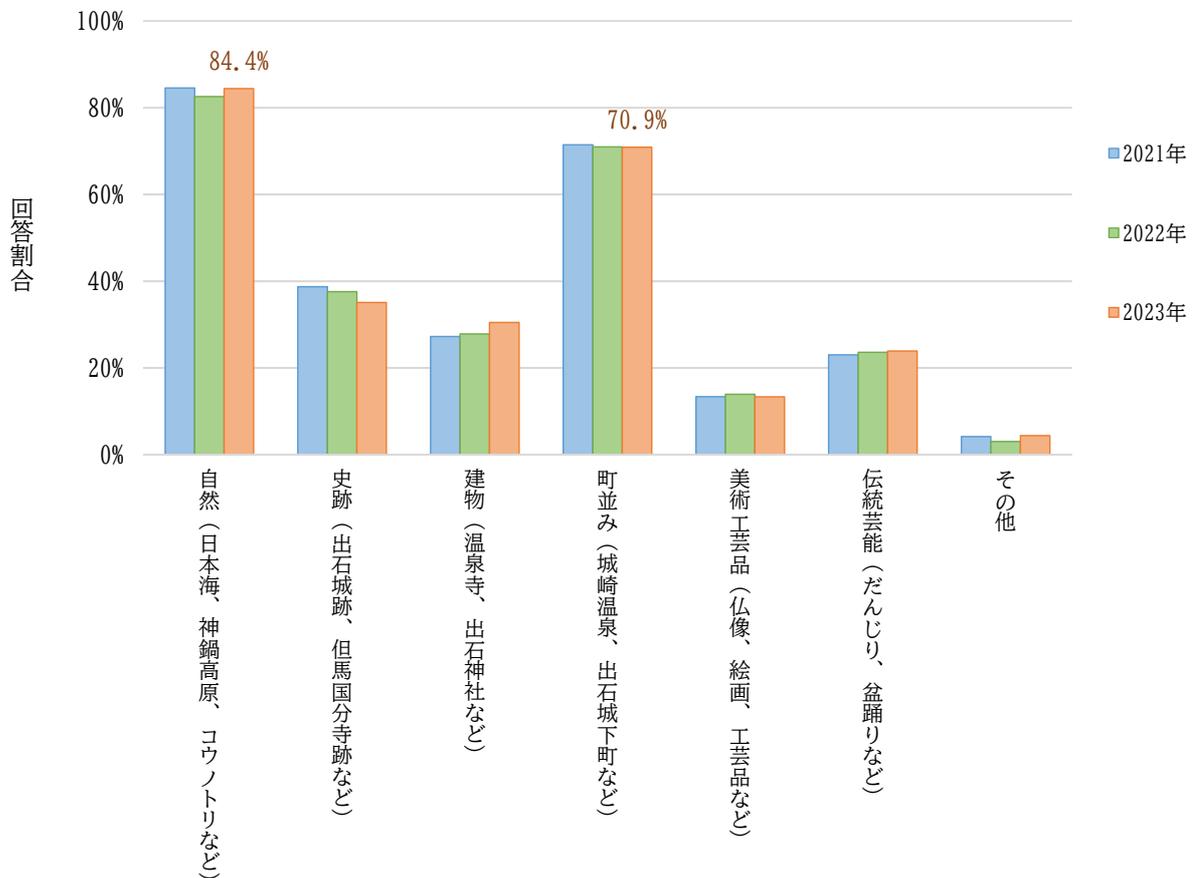
図35：地域の歴史等を誇りに思うか（地域別）



(2) 問33『あなたは、次の中で豊岡市の誇りだと感じているものがありますか』

これまでの調査における、回答数に占める回答割合は、図36のとおりである。「自然」及び「町並み」の回答割合が他の選択肢に比べ高い。

図36：豊岡市の誇りだと思う具体的な対象



(3) 問 34『あなたは、市外の人やマスメディア、SNSなどの評価によって、豊岡の歴史、伝統、文化の素晴らしさに気付かされたことはありますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 26 のとおりである。
調査年の間で統計的に有意な差はない。

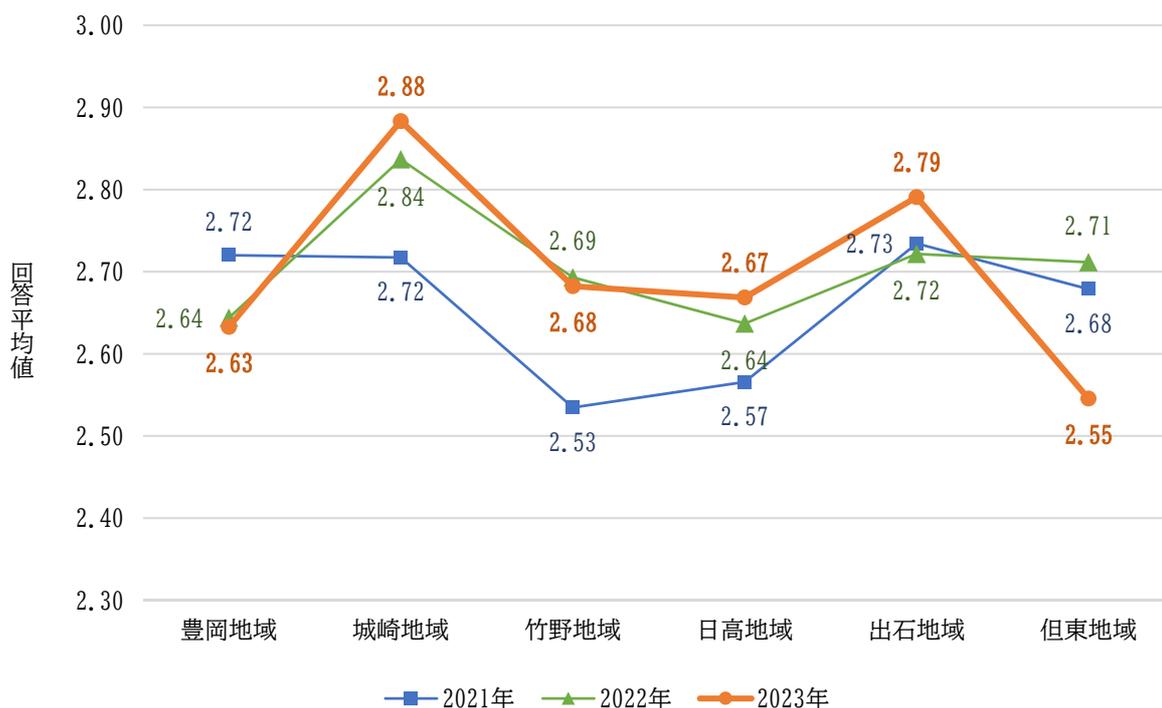
<表 26：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.68
2022 年調査	2.67
2023 年調査	2.66

地域別の結果は、図 37 のとおりである。

2023 年調査においては、城崎地域と、出石地域を除く他の地域との間に統計的に有意な差がある。城崎地域は他の地域に比べ、市外の人やマスメディア、SNSなどの評価によって歴史等の素晴らしさに気付かされる頻度は高いと言える。

図37：市外の人やマスメディア、SNSなどの評価から豊岡の素晴らしさに気付かされるか



(4) 問 35『あなたは、豊岡市を文化芸術の盛んなまちだと思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 27 のとおりである。
調査年の間で統計的に有意な差はない。

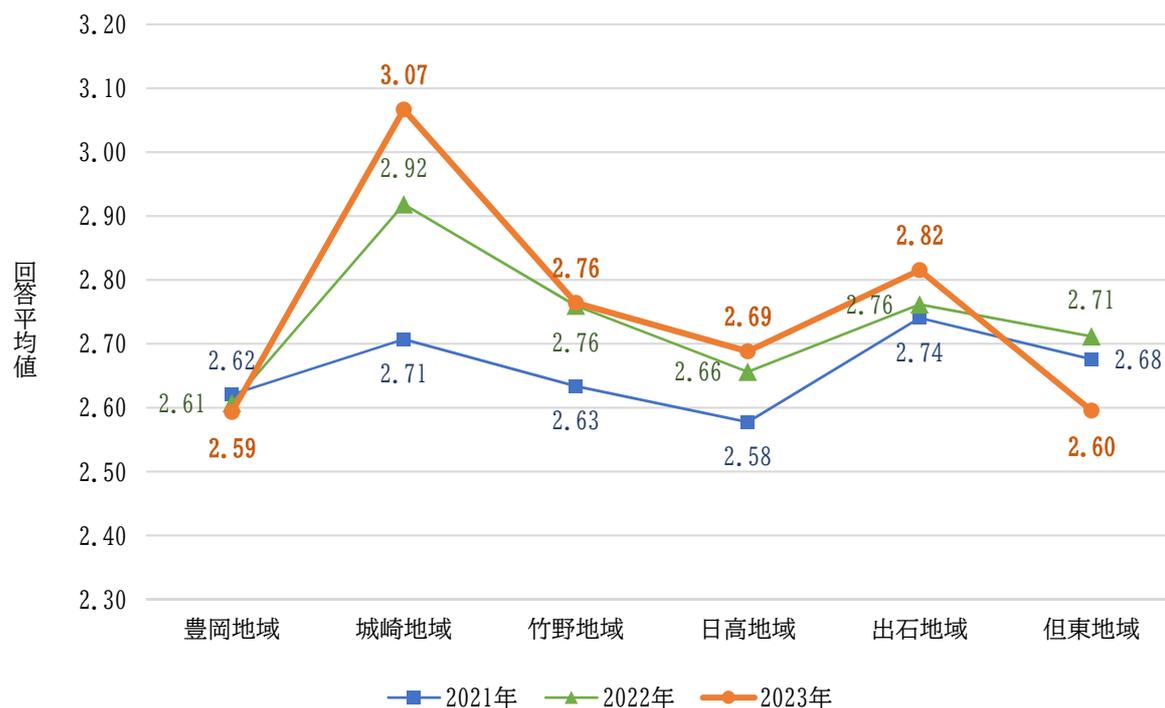
<表 27：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.63
2022 年調査	2.66
2023 年調査	2.66

地域別の結果は、図 38 のとおりである。

2023 年調査においては、城崎地域と、竹野地域と出石地域を除く他の地域との間に統計的に有意な差がある。城崎地域では他の地域に比べて文化芸術が盛んなまちだと思われると言える。

図38：豊岡市は文化芸術の盛んなまちだと思うか



(5) 問 36『あなたは、一流のアーティストが創作する舞台芸術や芸術作品など、質の高い文化芸術に気軽に触れられる機会が多いまちだと思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 28 のとおりである。

2023 年調査と 2021 年調査の間には統計的に有意な差があり、2 年前との比較では肯定的な回答が増加していると言える。

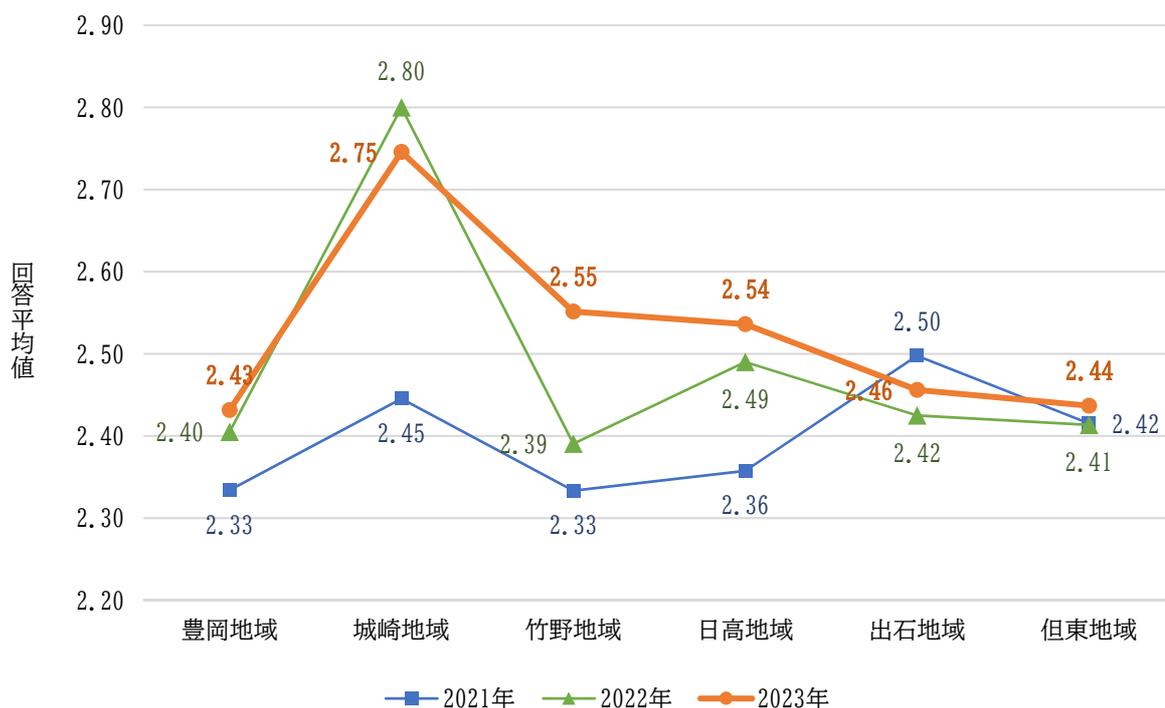
<表 28：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.37
2022 年調査	2.44
2023 年調査	2.47

地域別の結果は、図 39 のとおりである。

2023 年調査においては、城崎地域と豊岡地域との間に統計的に有意な差がある。これらの地域間では、質の高い文化芸術に触れられる機会が多いと思うかどうかには差があると言える。

図39：質の高い文化芸術に触れられる機会が多いまちだと思うか



(6) 問 37『あなたは、豊岡市で活動するアーティストやクリエイターを応援したいと思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 29 のとおりである。
調査年の間で統計的に有意な差はない。

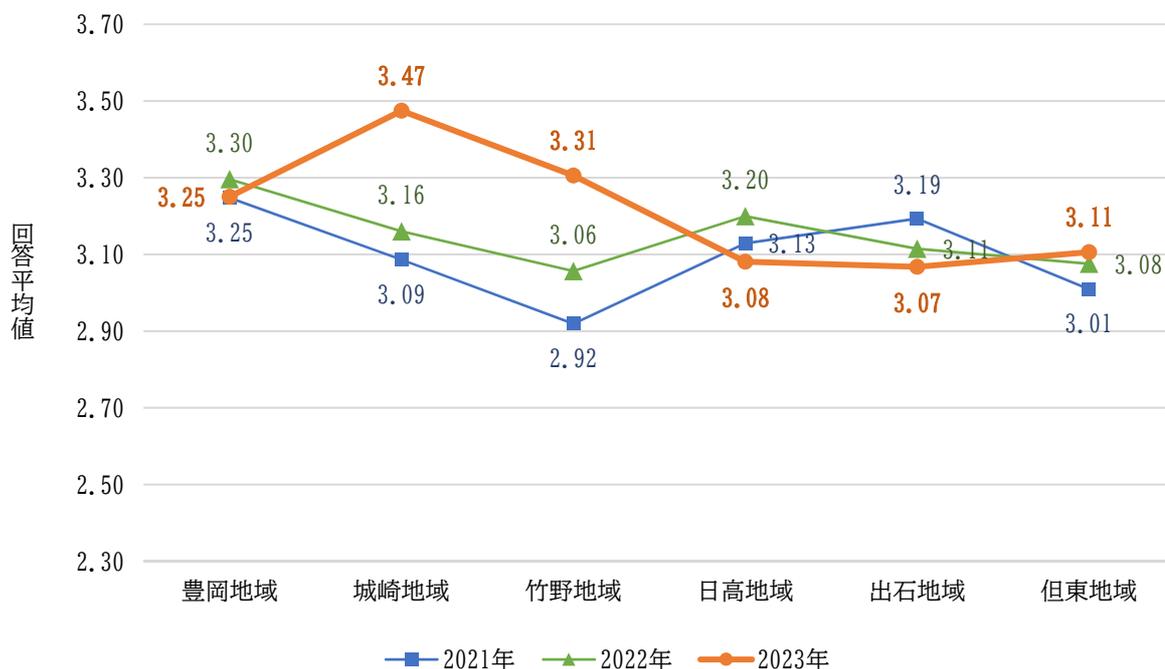
<表 29：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	3.17
2022 年調査	3.23
2023 年調査	3.20

地域別の結果は、図 40 のとおりである。

2023 年調査において、城崎地域は日高地域、出石地域及び但東地域との間に統計的に有意な差がある。城崎地域とこれら 3 地域との間では、アーティスト等を応援する気風に差があると言える。なお、竹野地域も日高地域及び出石地域との比較では有意に高い。

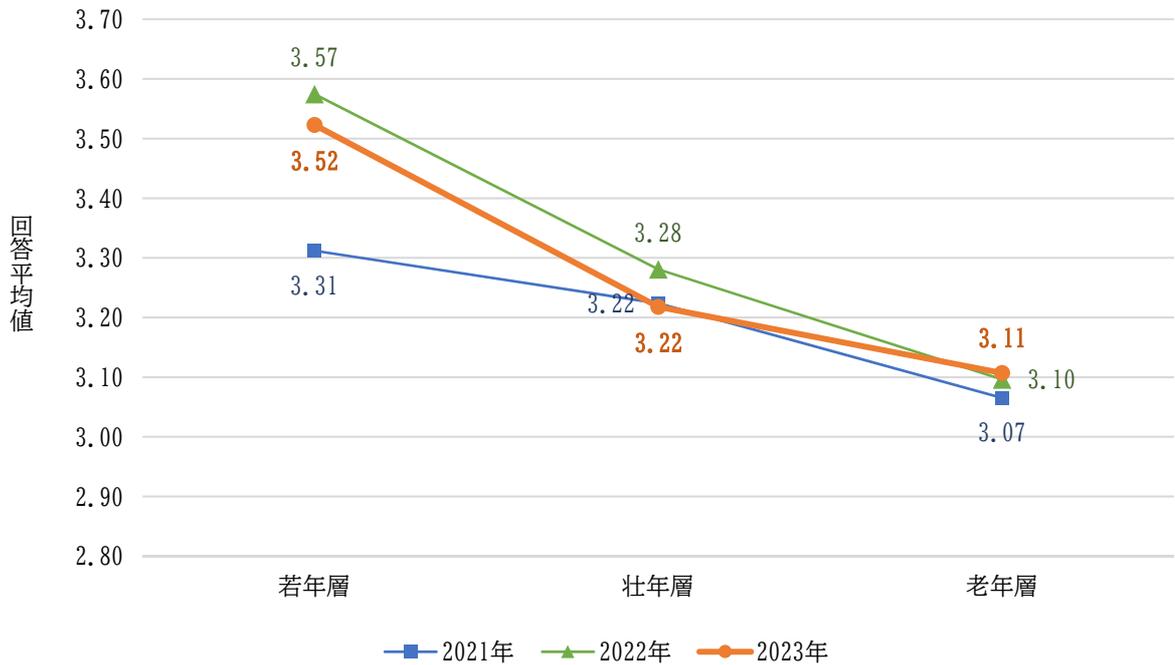
図40：豊岡市で活動するアーティスト等を応援したいと思うか
(地域別)



年代別の結果は、図 41 のとおりである。

若年層の回答平均値は他の年齢層に比べて有意に高く、市内で活動するアーティスト等を応援したいと思っている人が多いと言える。

図41：豊岡市で活動するアーティスト等を応援したいと思うか
(年代別)



問35～問37における男女別の結果は、図42のとおりである。

文化芸術に関する設問の回答平均値には男女間で統計的に有意な差があり、男性よりも女性のほうが高い傾向にある。

図42：問35～問37の回答平均値（男女別）

問35：豊岡市は文化芸術の盛んなまちだと思うか
問36：質の高い文化芸術に触れられる機会が多いまちだと思うか
問37：豊岡市で活動するアーティスト等を応援したいと思うか



9 防災について（問 38～問 44）

(1) 問 38『あなたは、市民総参加訓練に参加していますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 30 のとおりである。
調査年の間で統計的に有意な差はない。

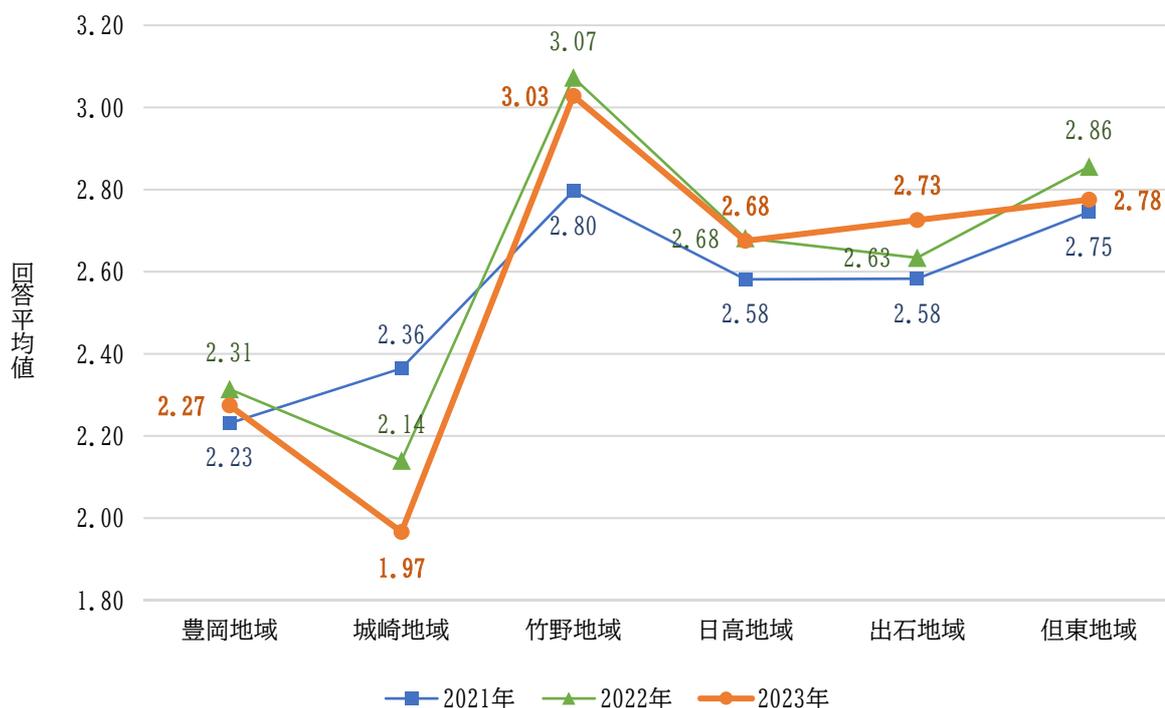
<表 30：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.41
2022 年調査	2.50
2023 年調査	2.46

地域別の結果は図 43 のとおりである。

2023 年調査において、豊岡地域及び城崎地域と他の地域との間に統計的に有意な差がある。この 2 地域は他の地域に比べ、市民総参加訓練への参加頻度は低いと言える。また、城崎地域は豊岡地域との比較においても有意に低い。

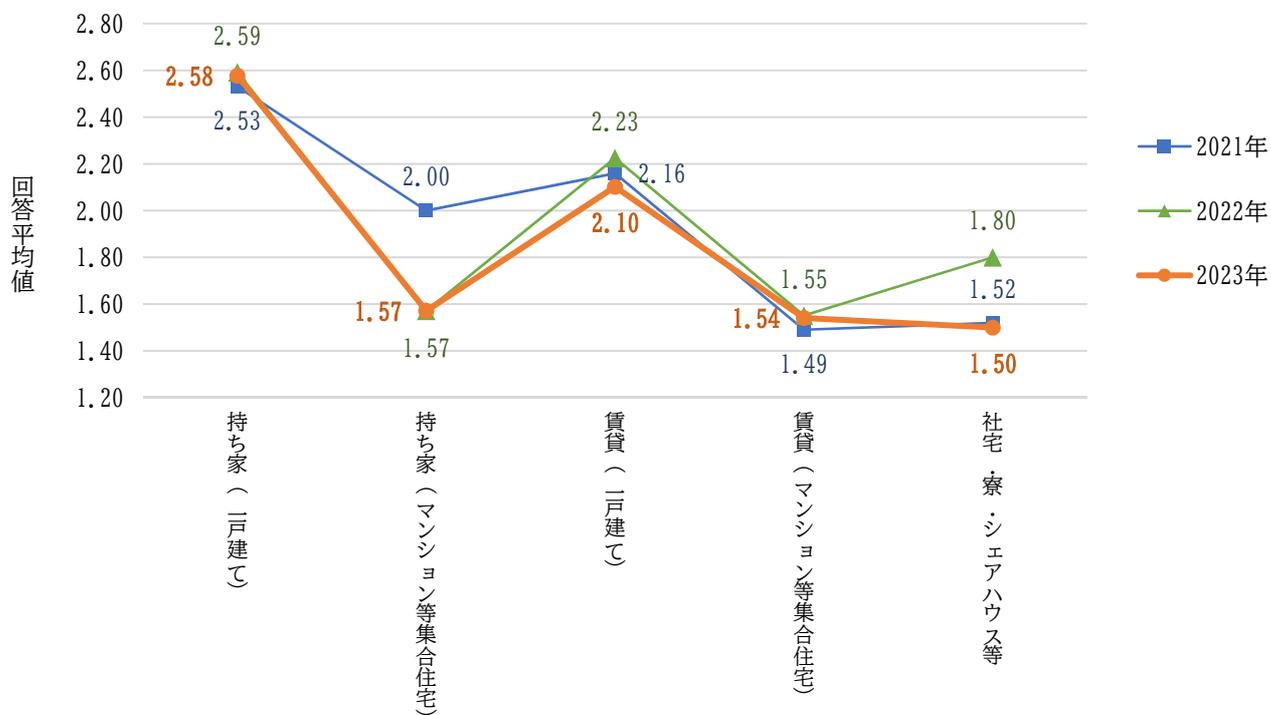
図43：市民総参加訓練に参加しているか（地域別）



住居形態別の結果は、図44のとおりである。

マンション等の集合住宅や社宅・寮等に住んでいる人の回答平均値が低い傾向が続いており、地域とのつながりの程度が関連している可能性がある。

図44：市民総参加訓練に参加しているか（居住形態別）



(2) 問 39『参加したことがないのはなぜですか』

2023 年調査における、地域別の回答数及び回答数に占める割合は、表 31 のとおりである。

これまでの調査と同様、「市民総参加訓練が実施されているかどうか知らない」及び「仕事や家事、育児、介護、学業などで時間がとれない」の回答が多い。

<表 31：地域別の回答数及び回答数に占める割合>

	豊岡地域		城崎地域		竹野地域		日高地域		出石地域		但東地域	
	人数 (人)	割合 (%)										
自分の地域では市民総参加訓練が実施されていない	38	11.9	3	12.0	2	15.4	8	10.0	2	5.9	6	37.5
市民総参加訓練が実施されているかどうか知らない	111	34.8	11	44.0	4	30.8	31	38.8	12	35.3	6	37.5
仕事や家事、育児、介護、学業などで時間がとれない	107	33.5	12	48.0	6	46.2	22	27.5	7	20.6	6	37.5
訓練が役に立つとは思えない	15	4.7	2	8.0	1	7.7	3	3.8	1	2.9	2	12.5
関心がない	69	21.6	4	16.0	3	23.1	14	17.5	9	26.5	1	6.3
あまり人と付き合いたくない	27	8.5	1	4.0	3	23.1	10	12.5	3	8.8	1	6.3
転入したばかりでまだ機会がない	23	7.2	3	12.0	0	0	6	7.5	3	8.8	2	12.5
その他	29	9.1	1	4.0	1	7.7	10	12.5	1	2.9	0	0

「その他」における自由記述では、「高齢だから」や「足の具合がよくない」といった年齢や健康に関する理由が多く挙げられた。

(3) 問 40『あなたは、災害が発生したとき、自分自身の身を守る行動がとれると思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 32 のとおりである。

調査年の中で統計的に有意な差はない。

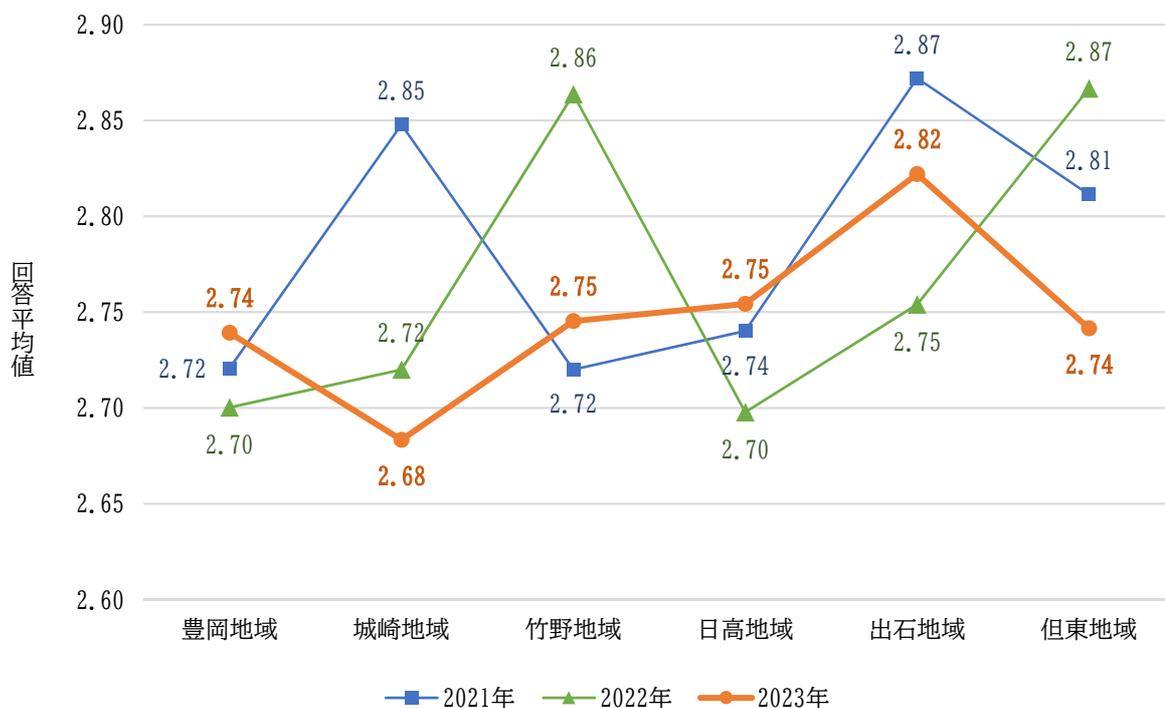
<表 32：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.75
2022 年調査	2.72
2023 年調査	2.75

地域別の結果は、図 45 のとおりである。

調査年によって回答平均値が変化しており、地域別の傾向は見られない。

図45：災害時に身を守る行動がとれると思うか



(4) 問 41『あなたは次の防災活動に参加したことがありますか』

地域別の回答数及び回答数に占める割合は、表 33 のとおりである。

全ての地域で「区で行われる訓練」の回答割合が最も高い。

<表 33：地域別の回答数及び回答数に占める割合>

	豊岡地域		城崎地域		竹野地域		日高地域		出石地域		但東地域	
	人数 (人)	割合 (%)										
区で行われる訓練（市民総参加訓練以外）	529	81.0	24	75.0	72	84.7	190	83.3	120	87.6	49	76.6
市政出前講座	47	7.2	2	6.3	12	14.1	12	5.3	13	9.5	4	6.3
区、コミュニティで行われる防災ワークショップ	108	16.5	8	25.0	18	21.2	48	21.1	29	21.2	14	21.9
防災学習会	72	11.0	4	12.5	11	12.9	27	11.8	13	9.5	9	14.1
北但大震災メモリアル写真展	83	12.7	7	21.9	7	8.2	17	7.5	6	4.4	3	4.7
台風 23 号メモリアル写真展	100	15.3	7	21.9	10	11.8	20	8.8	13	9.5	6	9.4

(5) 問 42『あなたは、以前に比べてあなたの地域での防災活動は活発に行われていると思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 34 のとおりである。

2022 年調査と 2023 年調査の回答平均値の間には、統計的に有意な差がある。2023 年調査では昨年に比べ否定的な回答が増加している。

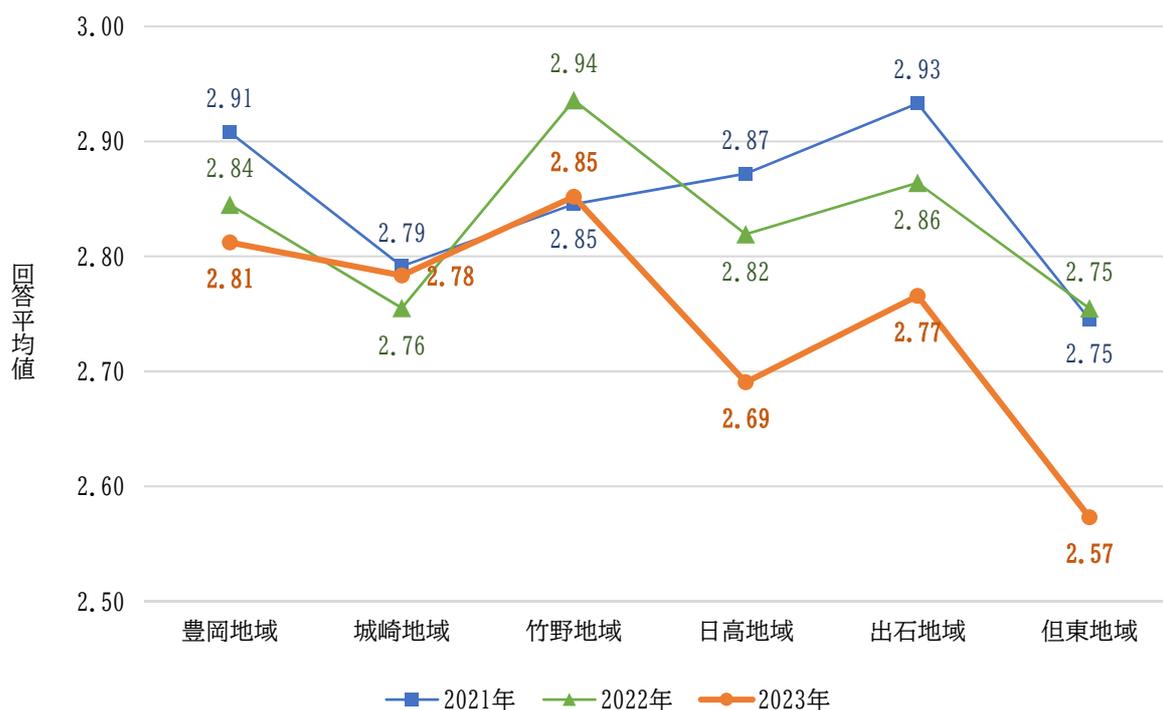
<表 34：調査年ごとの回答平均値>

2021 年調査	2.88
2022 年調査	2.84
2023 年調査	2.77

地域別の結果は、図 46 のとおりである。

2023 年調査においては、地域間で統計的に有意な差はない。

図46：以前に比べ地域での防災活動は活発に行われていると思うか



(6) 問 43『あなたは災害に備えて次のことを実践していますか』

地域別の回答数及び回答数に占める割合は、表 35 のとおりである。なお、「マイ避難カードの作成」は今回の調査から加えた項目である。

昨年と比べると、防災マップ関連の項目で回答割合の上昇が多く見られた。特に「最寄りの避難場所の確認」や「避難ルートの確認」では5ポイント以上上昇した地域も複数あり、近年の台風や大雨などの自然災害の頻発・激甚化により、市民の防災への意識が高まっている可能性がある。

<表 35：地域別の回答数及び回答数に占める割合>

	豊岡地域		城崎地域		竹野地域		日高地域		出石地域		但東地域	
	人数 (人)	割合 (%)										
非常持出品の準備	371	42.3	19	35.2	43	44.3	113	35.5	72	39.6	19	23.8
家具の転倒防止	207	23.6	15	27.8	18	18.6	71	22.3	39	21.4	24	30.0
住宅の耐震診断や耐震改修	72	8.2	0	0	7	7.2	36	11.3	22	12.1	6	7.5
防災マップの保管	556	63.3	32	59.3	56	57.7	189	59.4	120	65.9	44	55.0
防災マップで最寄りの避難所の確認	478	54.4	24	44.4	63	64.9	162	50.9	98	53.8	41	51.3
防災マップで避難ルートの確認	244	27.8	15	27.8	36	37.1	91	28.6	49	26.9	17	21.3
助けが必要な（または自分を助けてくれる）近所の人の確認	212	24.1	22	40.7	33	34.0	93	29.2	51	28.0	27	33.8
避難行動について家族と話し合う	225	25.6	15	27.8	20	20.6	68	21.4	41	22.5	19	23.8
防災行政無線戸別受信機の電池交換	243	27.7	25	46.3	34	35.1	109	34.3	67	36.8	14	17.5
とよおか防災ネット（またはひょうご防災ネットアプリ）に登録	139	15.8	15	27.8	16	16.5	59	18.6	32	17.6	11	13.8
マイ避難カードの作成	26	3.0	0	0	1	1.0	6	1.9	1	0.5	2	2.5

(7) 問 44 『「特別警報」は数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況となったとき、気象庁より発表されます。「特別警報」が発表された時には、通常救助に駆けつける消防職員や消防団員など防災関係者自身も、まずは自分の命を守る行動をとらなければなりません。あなたは、この「特別警報」のことを知っていましたか』

2023 年調査における男女別の結果は、表 36 のとおりである。

男性は女性に比べ「特別警報」についての知識があると言える。なお、回答割合は男女とも昨年の調査結果とほぼ同程度である。

<表 36：男女別の回答数及び回答数に占める割合>

		男性		女性	
		人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
特別警報について	まったく知らなかった	64	8.0	91	9.7
	聞いたことはあったが、どのようなものかは知らなかった	216	27.0	350	37.5
	ある程度、どのようなものかも知っていた	389	48.7	409	43.8
	「特別警報」がどのようなものか、よく知っていた	130	16.3	84	9.0
	合計	799	100	934	100

10 まちづくりと観光について（問 45～問 48）

(1) 問 45『あなたは、豊岡市で暮らすことに価値や魅力を感じていますか』

問 46『あなたは、進学や就職で豊岡市を出ていく子どもたちに対し、将来帰ってきてほしいと思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 37 のとおりである。

問 45 については、2021 年調査と 2022 年調査の回答平均値との間に統計的に有意な差があり、否定的な回答が増加していると言える。

問 46 については、調査年の間で統計的に有意な差はない。

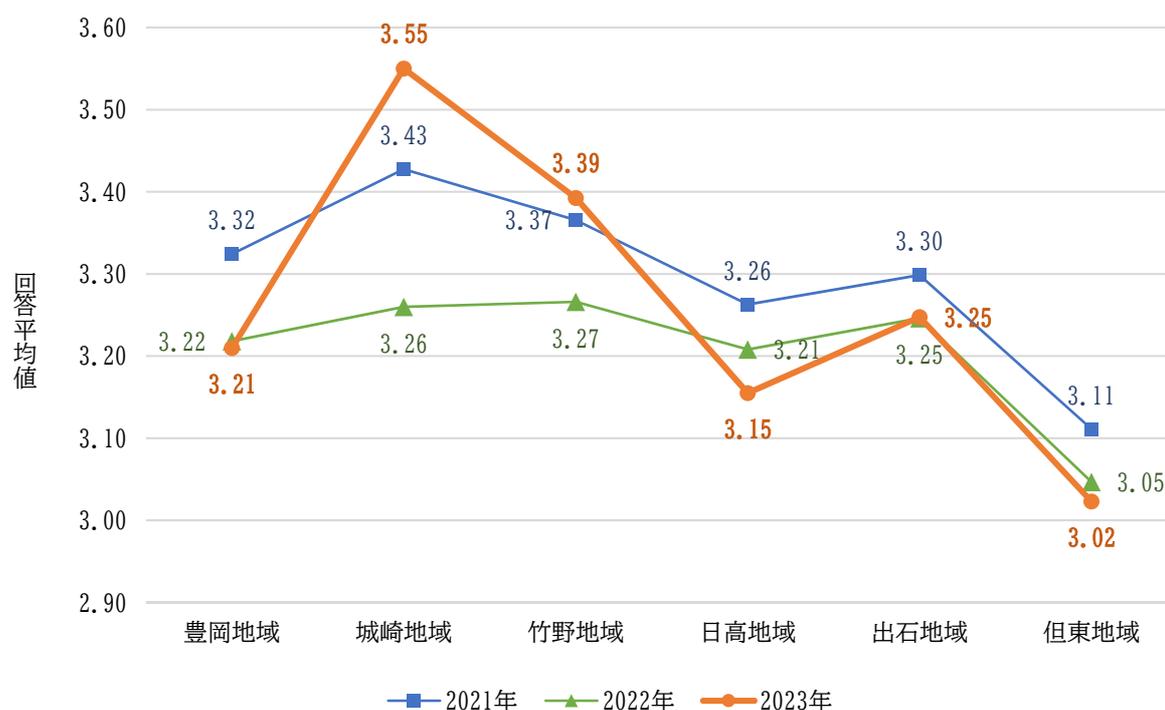
<表 37：調査年ごとの回答平均値>

	問 45	問 46
2021 年調査	3.31	3.50
2022 年調査	3.21	3.48
2023 年調査	3.22	3.46

問 45 のこれまでの調査における地域別の結果は、図 47 のとおりである。

2023 年調査においては、城崎地域と、竹野地域を除く他の地域との間に統計的に有意な差がある。城崎地域では豊岡市で暮らすことに価値や魅力を感じている人が多いと言える。なお、竹野地域も日高地域及び但東地域との比較では有意に高い。

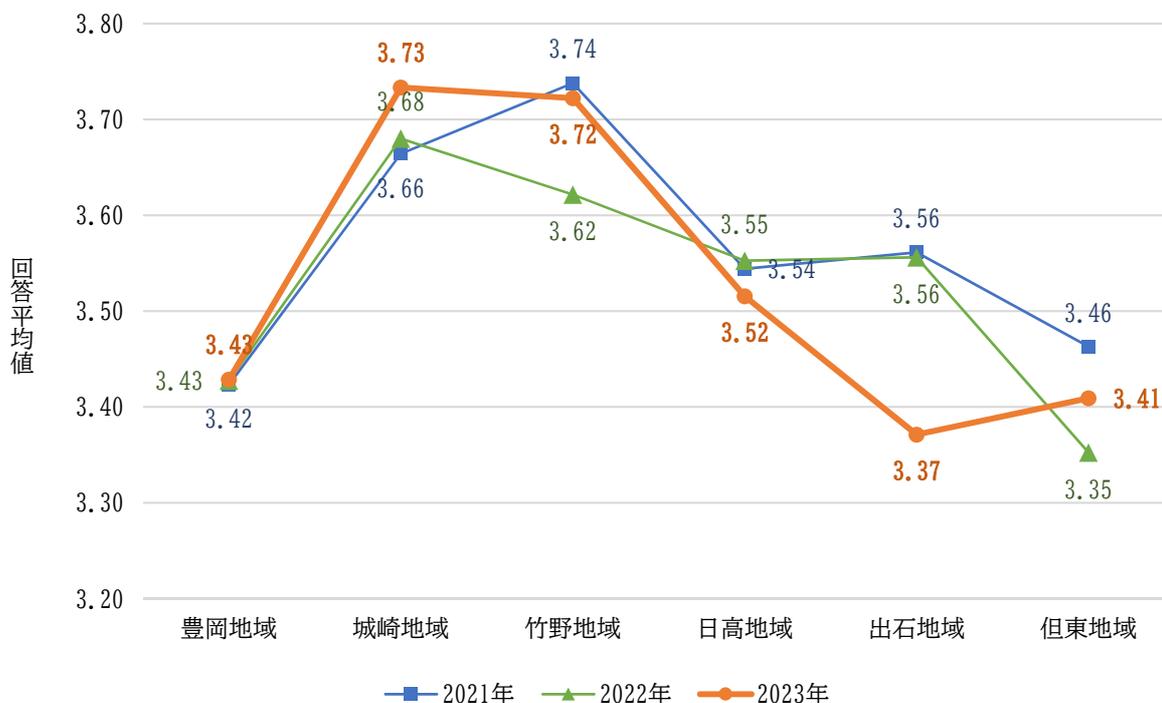
図47：豊岡市で暮らすことに価値や魅力を感じているか



問 46 のこれまでの調査における地域別の結果は、図 48 のとおりである。

城崎地域及び竹野地域と、日高地域を除くその他の地域との間に統計的に有意な差がある。城崎地域と竹野地域では、豊岡を出ていく子どもたちに将来帰ってきてほしいと思う人が多いようである。

図48：豊岡を出ていく子どもたちに将来帰ってきてほしいと思うか



(2) 問 47 『あなたの地域（合併前の旧市町）にもっと観光客が来てほしいと思いますか』

問 48 『市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表 38 のとおりである。

問 47、問 48 とともに、調査年の間で統計的に有意な差はない。

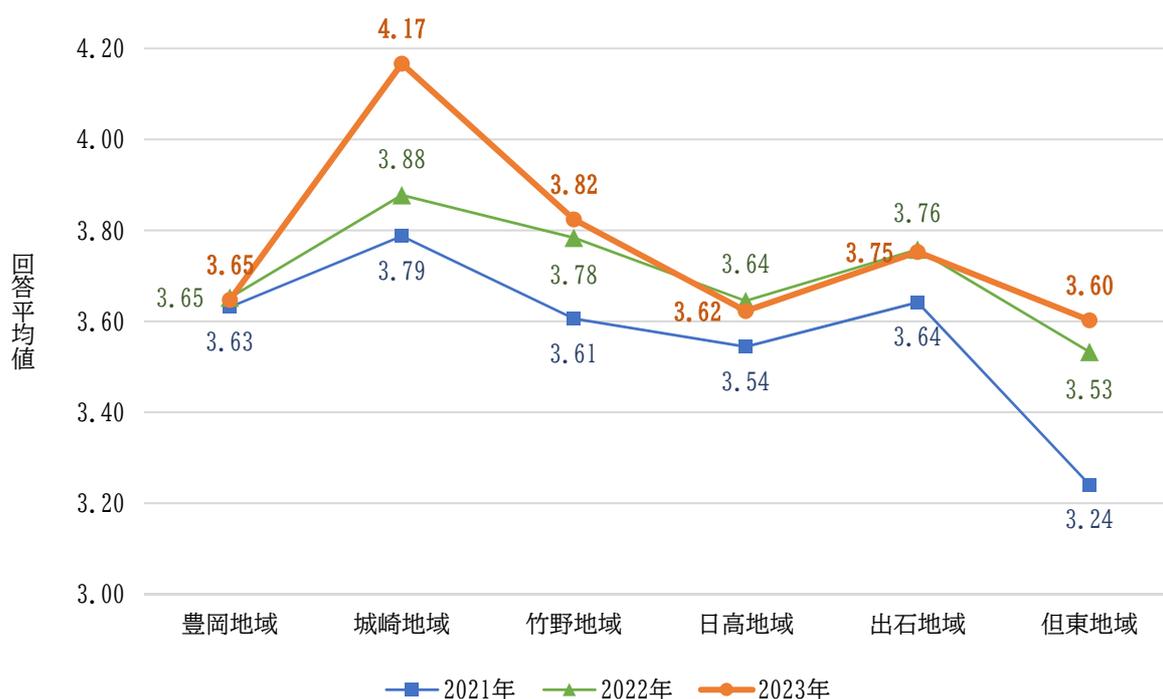
<表 38：調査年ごとの回答平均値>

	問 47	問 48
2021 年調査	3.60	3.51
2022 年調査	3.67	3.47
2023 年調査	3.68	3.52

問 47 のこれまでの調査における地域別の結果は、図 49 のとおりである。

2023 年調査においては、城崎地域と他の地域との間に統計的に有意な差がある。城崎地域は他の地域に比べ、もっと観光客が来てほしいと思っている人が多いと言える。

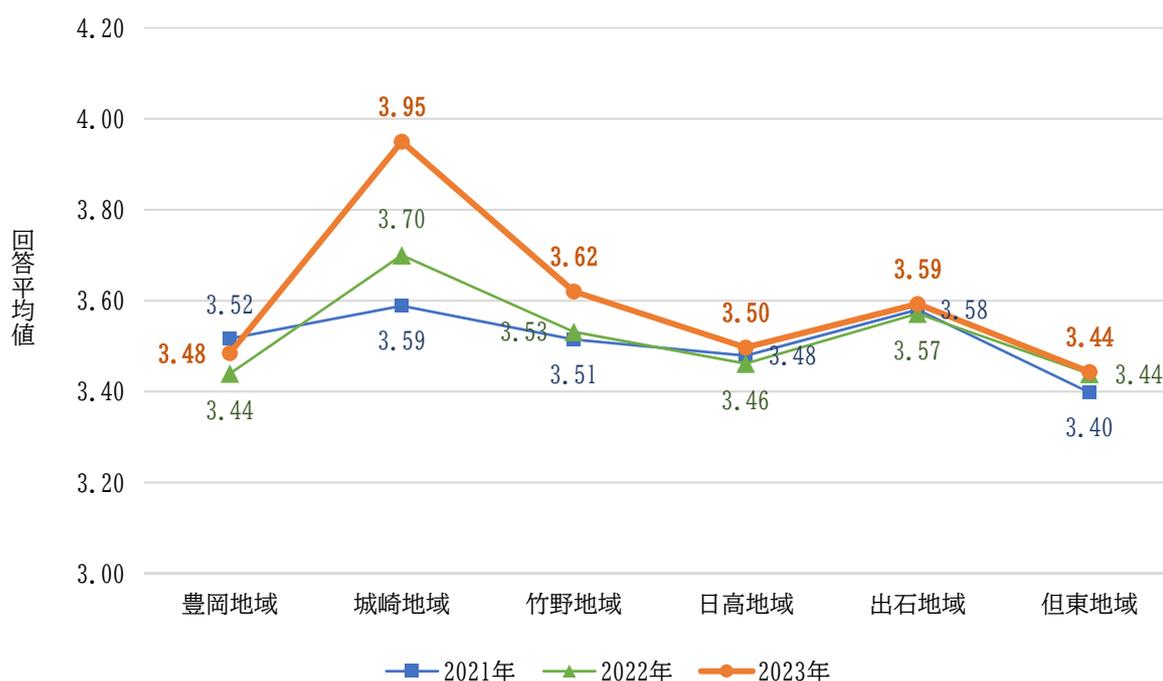
図49：居住地域（旧市町）にもっと観光客が来てほしいと思うか



問 48 のこれまでの調査における地域別の結果は、図 50 のとおりである。

問 47 と同様に、城崎地域と他の地域との間に統計的に有意な差があり、城崎地域は他の地域に比べ、訪れる価値のあるまちとして豊岡市を市外の人へ勧めたいと思っている人が多いと言える。

図50：訪れる価値のあるまちとして豊岡市を勧めたいと思うか



目 調 査 票

2023 豊岡市まちづくりアンケート ～政策モニタリング調査～

日頃から市の取組みにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
豊岡市では、よりよいまちづくりを活用するため、毎年、アンケートを実施しています。
このアンケートは、18歳以上の豊岡市民の皆さまの中から4,000人を無作為に抽出して
送付しており、すべて匿名で処理され、個人に関する情報が公開されることはありません。

また、集計結果は政策の改善の目的のみに使用し、その他の目的に使用することはありま
せん。

アンケート回答の所要時間は約20分です。お忙しいところ恐縮ですが、回答にご協力いた
だきますようお願い申し上げます。

2023年1月16日
豊岡市

【 返送締切：2023年2月6日(月) 】

Web回答もできます。

スマートフォン等で右の二次元コードを読み取るか、
下記のURLからWeb回答サイトを表示して回答をお願いします。
[https://questant.jp/q/O\(オー\)60\(ゼロ\)VU4JV](https://questant.jp/q/O(オー)60(ゼロ)VU4JV)

Web回答された場合は、この調査票の返送は不要です。



《 お問い合わせ 》
豊岡市役所 政策調整課 (担当:和田、真狩)
電 話 : 0796-21-9022
F A X : 0796-24-5932
Eメール : seisakuchousei@city.toyooka.lg.jp



◆豊岡市の重要政策について評価しています。

豊岡市では、市の重要政策について評価を行い、立案した政策の改善に結び付けたいと考
えています。

その政策の改善の手がかりの一つにするために、このアンケートを定期的に実施していま
す。これからもこのアンケートを実施し、政策が順調に進んでいるかどうか、どうすればもっ
とうまくいくかについて等の情報を得た上で、政策の改善を検討していきたいと考えていま
す。

◆市民の皆様と「協働」して政策を改善します。

市民の皆さまと一緒に政策を改善するために、市民ワークショップ等を開催し、政策につ
いて話し合っています。

「協働」とは、共通の目的に向かって一緒に行動することです。

市民ワークショップでは、(共通の目的に賛同す
る)市民の皆さまと市が一緒に政策を考え
たり、見直したりする話し合いを行っています。そ
の話し合いで得られた市民の皆さまの経験や知
識を政策に反映し、共通の目的の実現に向け
一緒に行動していきたいと考えています。



市民ワークショップの様子

※ 昨年は、コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたため、市民ワークショップは開催でき
ませんでした。

=====
 *該当する番号、記号に○をつけてください。
 *回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問1】 あなたの性別は？

- (1) 男性 (2) 女性 (3) その他

【問2】 あなたの年齢は？

- (1) 10代 (2) 20代 (3) 30代 (4) 40代 (5) 50代 (6) 60代 (7) 70代 (8) 80代以上

【問3】 あなたの職業(最も多く収入を得ているもの)は？

- (1) 会社員、会社役員 (2) 自営業(農業含む) (3) 公務員 (4) パート、アルバイト
 (5) 専業主婦・主夫 (6) 学生 (7) NGO、NPO (8) 無職
 (9) その他()

【問4】 あなたはどこの地区にお住まいですか？

- (1) 豊岡地区 (2) 八条地区 (3) 三江地区 (4) 田鶴野地区 (5) 五荘地区 (6) 新田地区
 (7) 中筋地区 (8) 奈佐地区 (9) 港地区 (10) 神美地区 (11) 城崎地区 (12) 竹野南地区
 (13) 中竹野地区 (14) 竹野地区 (15) 国府地区 (16) 八代地区 (17) 日高地区(日高小学校区)
 (18) 日高地区(静修小学校区) (19) 三方地区 (20) 清滝地区 (21) 西気地区 (22) 弘道地区
 (23) 菅谷地区 (24) 福住地区 (25) 寺坂地区 (26) 小坂地区 (27) 小野地区 (28) 資母地区
 (29) 合橋地区 (30) 高橋地区

【問5】 あなたの同居家族の構成は？

- (1) 10ひとり暮らし (2) 夫婦のみ (3) 夫婦と20歳未満の子ども
 (4) ひとり親と20歳未満の子ども (5) 二世帯家族(親と子、3)4を除く)
 (6) 三世帯家族(親と子と孫) (7) その他()

【問6】 あなたの住まいの居住形態は、どれに当てはまりますか？

- (1) 持ち家(一戸建て) (2) 持ち家(マンション等集合住宅)
 (3) 賃貸(一戸建て) (4) 賃貸(マンション等集合住宅)
 (5) 社宅・寮・シェアハウス等 (6) その他()

【問7】 あなたの同居家族に高校生以下の子どもがいる場合は、その人数を教えてください。

小学生以下の子ども： _____ 人 中学生の子ども： _____ 人 高校生の子ども： _____ 人

=====
 *該当する番号、記号に○をつけてください。
 *回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

=====
 <自然と環境について>=====
 自然と環境について

【問8】 あなたは、豊岡の自然の中で暮らすことに価値があると感じていますか？

- (1) ほとんど感じていない (2) あまり感じていない (3) どちらとも言えない
 (4) ある程度感じている (5) とても感じている

【問9】 あなたは、生物多様性保全のためにどのような取組みが重要だと思いますか？重要と思われるものをすべてに○をつけてください。

- A 稲作(コウノトリ育む農法など) B 耕作放棄地のビオトープ化
 C 間伐 D 自然に配慮した工法による河川整備
 E 環境教育の実施 F 農地や農業施設の適正な管理
 G 湿地、里山などの保全活動 H 自然体験活動の実施による自然への理解
 I 里山の整備 J コウノトリをシンボルとした様々な取組み
 K その他()

【問10】 あなたは、地球温暖化対策として、普段のようなことを実践していますか？当てはまるものをすべてに○をつけてください。

- A 省エネ行動(節電など) B ゴミの減量化(分別の徹底など)
 C 公共交通の利用 D 自然エネルギーの活用(太陽光パネルの設置など)
 E クールスポットの活用 F エコ家電の購入
 G 環境に配慮した製品の購入(オーガニック、有機JASなど)
 H クールビズ、ウォームビズの実践 I リサイクルショップなどの活用
 J 地球温暖化についての議論や対話 K その他()

【問11】 あなたは、森林資源(木質バイオマス)や自然エネルギー(太陽光、風力、水力)などの持続可能な地域資源が有効に利用されていると思いますか？

- (1) まったくそう思わない (2) あまりそう思わない (3) どちらとも言えない
 (4) ある程度そう思う (5) とてもそう思う

*該当する番号、記号に○をつけてください。
*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問18】 あなたのまわりの子どもたちは、豊岡に愛着を感じていると思いますか？

- (1)まったくそう思わない
- (2)あまりそう思わない
- (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う
- (5)とてもそう思う

===== <環境と経済について> =====

【問19】 日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していますか？

- (1)まったくしていない
- (2)していない
- (3)分らない
- (4)している
- (5)とてもしている

【問20】 豊岡市の市民や事業者の皆さまによる環境を良くする取組みが、豊岡市の経済にもプラスになると思いますか？

- (1)まったくそう思わない
- (2)あまりそう思わない
- (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う
- (5)とてもそう思う

===== <健康と運動について> =====

【問21】 あなたは現在、自分が健康だと思いますか？

- (1)まったく思わない
- (2)思わない
- (3)思う
- (4)とてもそう思う

【問22】 あなたは健康維持・増進のために運動(1日30分以上)をしていますか？

- (1)ほぼ毎日している
- (2)週に3日以上している
- (3)週に2日している
- (4)週に1日以下
- (5)していない

【問23】 【問22】の回答で(1)～(4)を選択した方にお尋ねします。その運動はどのくらい継続されていますか？

- (1)1年以上
- (2)6か月～1年未満
- (3)3か月～6か月未満
- (4)3か月未満

*該当する番号、記号に○をつけてください。
*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

===== <子育てと教育について> =====

【問12】 あなたは、豊岡市で子育てをする人は安心して子育てができていると思いますか？

- (1)まったくそう思わない
- (2)あまりそう思わない
- (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う
- (5)とてもそう思う

【問13】 子育てに関する悩みや不安を相談できる窓口として、あなたが知っているものはどれですか？当ではまるものすべてに○をつけてください。

- A 子育て支援センター
- B 子育てセンター
- C 教育相談室
- D 青少年センター
- E 社会福祉課(障害・療育)
- F 健康増進課(健康や成長、こころのケア)
- G 子育てなんでも相談室
- H その他()

【問14】 豊岡市の現状は、子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思いますか？

- (1)まったくそう思わない
- (2)あまりそう思わない
- (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う
- (5)とてもそう思う

【問15】 子どもたちが集まって交流できる場所のうち、あなたが知っているものはどれですか？当ではまるものすべてに○をつけてください。

- A 子育てセンター
- B コミュニティセンター
- C 放課後子ども教室
- D 保育所等の公開保育
- E 保育所等の園庭開放
- F 子ども広場(アテイイ4階)
- G どれも知らない
- H その他()

【問16】 あなたのまわりの子どもたち(小学生・中学生)は、まわりの大人たちとのあいさつや会話が出来ますか？

- (1)ほとんどできていない
- (2)あまりできていない
- (3)どちらとも言えない
- (4)かなりできている
- (5)とてもよくできている

【問17】 あなたの地域では、お祭りなどの伝統行事に子どもたち(小学生・中学生)はどのくらい参加していますか？

- (1)ほとんど参加していない
- (2)あまり参加していない
- (3)どちらとも言えない
- (4)かなり参加している
- (5)とてもよく参加している

*該当する番号、記号に○をつけてください。
*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問24】 あなたは1年前と比べて、「歩くこと」などを動かす健康づくりをする回数に変化はありますか？

- (1)かなり減った (2)減った (3)変わらない (4)増えた (5)かなり増えた

【問25】 あなたは体を動かす健康づくりとして、どのようなことを実践していますか？当てはまるものをすべてに○をつけてください。

- A 日常生活の中で歩くようにしている(近いところなら歩くなど)
 B 歩数計、携帯電話、スマートフォンなどを活用し、自分の歩数を把握する
 C ウォーキングやジョギングをする
 D 健康ポイント制度に参加する
 E 自宅でテレビやDVDに合わせて体操する
 F 玄米や元氣教室に参加する
 G 自宅で筋力トレーニング(スクワットなど)をする
 H 地域(老人クラブなど)のグラウンドゴルフなどに参加する
 I スポーツ 21 やサークル(卓球、太極拳など)に参加する
 J 職場でラジオ体操やストレッチをする
 K 講師がいる運動教室に参加する
 L 運動施設(プール・ジムなど)に通う
 M 農作業で体を動かしている
 N その他()
 O 特に何もしていない

===== <公共交通について> =====

【問26】 あなたは外出の際、移動手段について不便に感じることがありますか？

- (1)ほとんど感じたことはない (2)あまり感じたことはない (3)感じることもある
 (4)しばしば感じている (5)いつも感じている

*該当する番号、記号に○をつけてください。
*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問27】 あなたは、日常生活で移動するとき、主にどの手段で移動しますか？利用される頻度の高いものから3つ選んで記号を書いてください。

回答記入欄		
最も頻度が高い：[___]	2番目に頻度が高い：[___]	3番目に頻度が高い：[___]
選 択 肢		
(1)徒歩	(2)自転車	(3)バイク
(4)家族や知人の送迎	(5)福祉タクシー	(6)タクシー
(7)鉄道	(8)バス	(9)マイカー
(10)その他()		

【問28】 あなたは大阪方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか？当てはまるものを1つに○をつけてください。

- (1)大阪方面へは行かない (2)家族や知人の送迎 (3)特急バス
 (4)飛行機 (5)鉄道 (6)マイカー (7)その他()

【問29】 あなたは東京方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか？当てはまるものを1つに○をつけてください。

- (1)東京方面へは行かない (2)家族や知人の送迎 (3)特急バス
 (4)飛行機 (5)鉄道 (6)マイカー (7)その他()

===== <食と農業について> =====

【問30】 あなたは家庭で作る食事に、オーガニック、無農薬、減農薬の食材・食品を使っていますか？

- (1)ほとんど使うことはない (2)あまり使うことはない (3)使うことがある
 (4)ときどき使っている (5)いつも使っている

*該当する番号、記号に○をつけてください。
*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問31】 【問30】で③、④、⑤のいずれかに○を付けた方にお尋ねします。使っているオーガニック、無農薬、減農薬の食材はどのようなものですか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 米
- B 大豆
- C 麦
- D 野菜
- E 果物
- F ジュース、菓子類
- G お茶、コーヒー
- H 豆腐
- I レトルト食品、保存食品
- J その他 ()

===== <地域の歴史、伝統、文化芸術> =====

【問32】 あなたは、地域の歴史、伝統、文化を「わが町の誇りだ」と感じますか？

- (1)ほとんど感じていない
- (2)あまり感じていない
- (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度感じている
- (5)とても感じている

【問33】 あなたは、次の中で豊岡市の誇りだと感じているものがありますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 自然 (日本海、神鍋高原、コウノトリなど)
- B 史跡 (出石城跡、但馬国分寺跡など)
- C 建物 (温泉寺、出石神社など)
- D 町並み (城崎温泉、出石城下町など)
- E 美術工芸品 (仏像、絵画、工芸品など)
- F 伝統芸能(だんじり、盆踊りなど)
- G その他()

【問34】 あなたは、市外の人やマスメディア、SNSなどの評価によって、豊岡の歴史、伝統、文化の素晴らしさに気付かされたことはありますか？

- (1)ほとんどない
- (2)あまりない
- (3)たまにある
- (4)しばしばある
- (5)とてもよくある

【問35】 あなたは、豊岡市を文化芸術の盛んなまちだと思えますか？

- (1)まったくそう思わない
- (2)あまりそう思わない
- (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う
- (5)とてもそう思う

*該当する番号、記号に○をつけてください。
*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問36】 あなたは、一流のアーティストが創作する舞台芸術や芸術作品など、質の高い文化芸術に気軽に触れられる機会が多いまちだと思いますか？

- (1)まったくそう思わない
- (2)あまりそう思わない
- (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う
- (5)とてもそう思う

【問37】 あなたは、豊岡市で活動するアーティストやクリエイターを応援したいと思いますか？

- (1)まったくそう思わない
- (2)あまりそう思わない
- (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う
- (5)とてもそう思う

===== <防災について> =====

【問38】 あなたは、市民総参加訓練に参加していますか？

- (1)一度も参加したことがない
- (2)たまに参加することがある
- (3)時々参加している
- (4)毎回参加している

【問39】 【問38】で①に回答した方にお尋ねします。参加したことがないのはなぜですか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 自分の地域では市民総参加訓練が実施されていない
- B 市民総参加訓練が実施されているかどうかわからない
- C 仕事や家事、育児、介護、学業などで時間がとれない
- D 訓練が役に立つとは思えない
- E 関心がない
- F あまり人と付き合いたくない
- G 転入したばかりでまだ機会がない
- H その他()

【問40】 あなたは、災害が発生したとき、自分自身の身を守る行動がとれると思えますか？

- (1)まったくとれると思わない
- (2)あまりとれると思わない
- (3)ある程度とれると思う
- (4)かなりとれると思う
- (5)とてもしっかりとれると思う

*該当する番号、記号に○をつけてください。
*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問41】 あなたは次の防災活動に参加したことがありますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 区で行われる訓練(市民総参加訓練以外)
- B 市政出前講座
- C 区、コミュニティで行われる防災ワークショップ
- D 防災学習会
- E 北但大震災メモリアル写真展
- F 台風23号メモリアル写真展

【問42】 あなたは、以前に比べてあなたの地域での防災活動は活発に行われていると思いますか？

- (1)ほとんど感じない (2)あまり感じない (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度感じる (5)とても感じる

【問43】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 非常持出品を準備している
- B 家具の転倒防止を施している
- C 住宅の耐震診断や耐震改修を行っている
- D 市が配布している防災マップを保管している
- E 防災マップを活用し、最寄りの避難場所を確認している
- F 防災マップを活用し、避難ルートを確認している
- G 有事の際、助けが必要な(または自分を助けてくれる)近所の人の存在を認識している
- H 有事の際の避難行動について、家族と話し合っている(避難場所や連絡の方法など)
- I 防災行政無線戸別受信機の電池交換をしている
- J とよおか防災ネット(またはひょうご防災ネットアプリ)に登録している
- K マイ避難カードを作成している。
- L その他()

*該当する番号、記号に○をつけてください。
*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問44】 「特別警報」は数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況となったとき、気象庁より発表されます。「特別警報」が発表された時には、通常救助に駆けつける消防職員や消防団員など防災関係者自身も、まずは自分の命を守る行動をとらなければなりません。あなたは、この「特別警報」のことを知っていましたか？

- (1)まったく知らなかった
- (2)聞いたことはあったが、どのようなものは知らなかった
- (3)ある程度、どのようなものかも知っていた
- (4)「特別警報」がどのようなものか、よく知っていた

===== <まちづくりと観光について> =====

【問45】 あなたは、豊岡市で暮らすことに価値や魅力があると感じていますか？

- (1)ほとんど感じていない (2)あまり感じていない (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度感じている (5)とても感じている

【問46】 あなたは、進学や就職で豊岡市を出ていく子どもたちに対し、将来帰ってきてほしいと思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

【問47】 あなたの地域(合併前の旧市町)にもっと観光客が来てほしいと思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

【問48】 市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

アンケートは以上です。
ご協力、ありがとうございました。

